



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回池田さんの話をお聞きして自分のやりきれなさ、もどかしさを感じました。最後のビデオで池田義三さんが原爆資料館では何の感情も感じなかったという話を聞いてそんな風に感じられるのは、あの日、あの場所ですべて実際に原爆の恐怖を体験しているからであって、いくら私達もそれを想像してもその何百倍何千倍もの恐怖、悲しみを感じていらしたのだと思うと胸がしめつけられる思いでした。未感するってほどでも完全に理解するってほどでもない苦しみであったと思います。それがどうにももどかしくつく感じました。でもこの感情は私にはどうすることもできないと思います。だから、池田義三さんやその他大勢の方のように苦しい思いをする人が生まれたいように私達も働きかけていかねばならないと思いました。少しの力ではあると思いますが、小さな平和を増やしていけるようにしていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

あの頃の時間に自分が行ったような気持ちになりました。
 1945年8月6日、私がその場にいた、何を思っ何を考えていた
 のか。原爆が落ちる1分前、1秒前、私は生きていることに感謝し
 ていたのか。早く出来ればよかったと思います。だから、私は先生のお話
 を聞いて、動画を見て、自分の無力さに気が来た。何をできない。
 自分が悔しかったです。私は小学校の修学旅行で沖縄に行き、
 戦争の悲惨さを知っていたつもりでした。その後、生きていく上で、授業の
 中で、知っていたつもりでした。たった17の原子爆弾で、5人の内2人が
 亡くなった。そんな悲しい事が、ひどい事が日本の歴史にあることにも
 胸が痛くなります。私は戦争を知りません。戦争を経験した方が
 段々少なくなっている中で、知らない人が増えていく中で、自分に何が
 できるのか、少なければそれが今日見た気がしました。それは、その人たちの
 ために、今をきちんと生きることです。今息を止めて勉強ができて
 食物が食べられ、自分の夢を思い描く事ができること。死ぬ事はまだ
 先だから、ゆっくりいけばいいや、なんて考えずに、全ての人が同じ価値の中
 の中で自分はどう生きるか。そして、その過去を絶対に忘れないこと。
 私は、二度と本をひどい過去をつくらないように、日々生き
 ていく上で、誰かのために幸せをつくりたいと思うようになりました。
 思いました。今日はお話しして下さりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はまだしの下などを見たことはありましたが、そこまで原爆について
あまりくわしく知りませんでした。原子爆弾の温度が7000℃だったり
人が一瞬にして炭になって黒いシミになるということを聞いて原子爆弾
のおそろしさにおどろかされました。70%の広島市民が被爆し、死者が
40%にも及びました。今も被爆により後遺症に悩まされている方がいる
ということをおぼえて原子爆弾は二度と落とすはけなないといえるおも
いが残りました。こういった講演を通して私のように原爆にたいして
涙山のことを学び、知って欲しいと思いました。キコ雲と一般には
言われているけれどそのくみをはじめて知ることができよかったですとおも
いました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話は色々な方から今まで生きてきた中で何度か聞いたことがあつたのですが語り方や自分の父親が実体験者であり、その方からのビデオなど、とても印象に残りやすい講演で話を聞くだけでなく、深く理解することができたような気がしました。私は福岡生まれなので小倉のことや長崎の原爆の話はある程度知っていたのですが、なぜ京都をやめたか、や広島は原爆についてはほんやりしか知らなかった。たのび、来年度の修学旅行、私は中学の時と同じ場所で正直つまらない、と思つていましたが、全く違つた気持ちで、別の眼で見ることができるようになります。今回テキストも配つて下さり、書き込むスペースもあつて色々書いたのび、広島行く前に先生のお話を思い出して、しっかり復習してから修学旅行を楽しみたいと思つています。今日は本当に興味深い話をして下さい。ありがとうございます。とてもためになる10分間でした。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日話を聞いて頭の中に描いた原爆の被爆者はとてもひまん
 だった。「人間のようだな」という言葉を使わないとどのようなものか分からなくて
 伝えられない程原型をよどめていたなかつたと聞いてとても衝撃だった。
 私かどなたかだけ話の内容の描写読み取って被爆者の様子をイメ
 ージしても実際に見た人の光景にはたどり着けなかつたろうなと
 泣きながら「今の記録と当時の様子は違っている。もって過酷
 だった」と語っているビデオを見ながら思った。原爆先生の言っ
 ていたことは残酷で聞いているだけの私も思わず顔をしかめて
 しゃがむ内容だった。それにはおま、音たどりが加わった状態
 当時広島で生活していた人たちが見たものはどんなにおぞまし
 いものだったのたどろろと思った。想像するのが怖いというか、私の想
 像力を補えない気がした。
 教科書や本を読むだけでは味わうことの出来ない気持ちに
 なれど本当に良かったぞ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して私は広島、長崎の原爆について歴史としてしか見ていなかったのだと思いました。原爆についてこれまでといった知識もなく、史料館にも行ったことはありません。動画で、はじめて見ました。その際にうつった、原爆の影響で手などの皮がただみだ女性を見ておどろきました。それに対して「生ねない」という言葉にまたおどろきと共に恐怖を感じました。こんな恐いことがこの世で本当に起ったのかと目を疑いくなりました。またこの原爆が向十年たった今でも人々を精神的、身体的に苦しめていて、その苦しみから解放する方法が今の私にはわからず、とても歯がゆいです。今の私にできることは微力ですが、このような恐いことが起ったことを忘れず日本史、世界史とでなく人の個人として学んでいきたいと思います。

貴重なお話をありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回特別授業を通じて原爆の事について詳しく知る事ができました。

一つ疑問に思った事があります。真徳先生は途中、被爆者は腕を

なめ前に出す理由は歩く時、腕を降るとわきか 刺して痛いため

と、おっしゃいましたが、私が中学生の頃読んだ「裸足のITん」に

あると、やけどで落ちた皮膚が指先まで来るとその皮膚が地面にこすれると

痛から腕を前に出して歩いたと聞きました。

候補に挙げられたのが横浜さんと考えると身震いします。

実際に体験した方はとても辛いだろうと思います。

この事は絶対に忘れてはいけない出来事だと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆について本、資料、教科書で学びました
が今日映像や分かりやすいテキスト、ただお話し
してくれるのではなく語り手のようにお話しして
くださって受講する前と後でより修学旅行
で訪ねる広島にある原爆資料館でずっと
学びたいと思ってきました。

最初の原爆投下をマイクと口を使って表現して
くれた時「ビックリ」しました。しかしより使いた
いという気持ちから私にも使たわりました。
人の皮がただなれている、うじ虫が人間の体で繁殖し
ている、人間なのに人間ではなかった。このワ
ードを聞くと自獄のような時間を体験した
んだと思います。もし私に体験してたら早
く死たたいと思います。それでも女の子は泣い
つても流さず強お、すごいと思ってきました。

最後の5分間池田義三さんお話ししてくれました
最後には泣きながら震るえながら、私は原
爆資料館へ行ったという池田義三さん本当に強
い方だなと、感動なのか分かりませんが何か込み上



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について、学校の授業や8月になるとテレビで
やっている特集などで少し知っていただけでした。もちろんそれが
悲惨なもので、町を消し、多くの命を一瞬でうばったことも知ってい
ました。が、今日先生のお話を聞いて、それが私の想像を
はるかに越えるものだったのだとわかりました。話を聞いて
いると、心がしめつけられ、目をそむけたくなるほど何度も
ありました。私の想像も出来ない事実がいくつもありました。
それは、3000℃という体験したことのない温度だけでなく、
被爆した方の心もそうです。町が消えたとき文字ではわかって
も、実際それを目前にした人にしかわからないものがあると、最後の
ビデオを見て強く感じました。

今日私は、原爆についての知識をたくさん得て、また、心を何度も
打たれました。言葉では表しきれない感情を得ました。

この今感じたこの気持ちをお大切にしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

これまでも、国語の授業などで原爆について学ぶ機会はありましたが、原爆
先生のお話を聞いて、より、深いところまで知ることができました。

当時の悲惨な町の様子や、歩いている人達の痛ましいという言葉では済ませ
られない様子は、お話を聞いてもゾッとしました。17、8歳ぐらいの女性が足にひどい
けがを負っていたお話のところで、自分と同年代の子がこのように辛い思いをした
というのが、悲しいと思いました。私にとっても驚いたのが、原爆投下直前の、アメリカ軍
の兵隊の様子です。目標地点を自視できたことと喜ぶ兵士も、その後の町や人
に起きたこととのかいり、怖ろしいと思いました。

池田さんの原爆資料館をおとあした時に、被爆当時の人の模型(人形)を見て、
きいたお話を、という言葉でかきつけたことや、最後のビデオでかきつけたことなどが、
実際はその場(にいた)人が感じたことや、見たことと、その場(にいた)かいた私達
が、後からお話を聞いたこととは、かなり差があるところと実感は
した。そのため、私達が完全に、当時のことを理解することはできませんが
それでも、私たちが積極的に知ろうとしていくことが大切なのだ"と思
いました。"7000°Cの少年、その熱射、衝撃波、放射線による、多くの被害
を生んだ原爆を、後の人々まで伝えるべく、頑張りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は小学生の頃長崎、中学生では広島に家族旅行で訪れたことが
あります。長崎は知っていたというもあり原爆を知らずには体験はしな
かったのですが、広島に原爆ドームを実際に目にしるととても苦しい気
持ちになりました。高一には、他の授業でも戦争を学ぶことが増
え、自分の中で体験おろしていったながらも当時の状態や人々の
様子などを知り、本当に悲惨な光景だと伝わりました。
中でも一番始めに見た絵本「はだしのゲン」は小学生だった私に
は衝撃が大きすぎてお母さんが目を背向けにくくなるように絵
ばかりで人間はこんな風にも愛おしくしてしまうのかと恐怖に襲
われました。今日の特別授業ではアメリカ軍側の事情や
B29などの爆撃機を詳しく知り、長崎と広島に最終的に
投下されるまでには推された場所の内に横浜も含まれていた。
もし当時の気候も燃料に問題が発生するアクシデントがなければ
は結果も変わっていたかもしれない。私も東京軍団に投下さ
れていたなら日本という国自体が終わっていたと思います。
今日の話をよくおぼえ、修学旅行に行きたいと思っております。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受講して 沢山の学びのものと初めて知ることで「明」になりました。

8月6日8時15分の出来事は知っているつもりでしたが、当時の広島の様子が「どのような様子」で
 どうやって原爆が「おとされるようになったのか」、全然「何」だったのかを感じました。

昨年の夏、家族で広島を訪れた際、原爆資料館に行き初めて広島の様子を
 写真で「見」た時、想像を超えるようなものを感じました。池田さんのお父さんが
 資料館に行くと見たものは実際よりも全然「甘い!!!」とおっしゃっていて、あの時
 驚いたものよりもさらに「おもしろいもの」だと思つたとおしく「心」が「いた」ようになります。

当時の様子を再現されたDVDを見ても自分が「そこにいたら、今」のような事が
 起きたらと思うとおしくおもしろく感じました。

私は体験を「して」いないけれど、リクルには伝えられなかったかもしれないけれど「絶対に未来
 に伝えたい」事柄は「伝えたいもの」だと思つた。年が経つほど、忘れてしまつたり、
 当時よりも甘く伝わってしまったりしてしまう。原爆ドームが「今」も残されているよ
 うに当時の様子をこれからも伝えたいと「役目」があるのは私たち若者だと思つたら
 思つた。5月に広島に行くと資料館に行くと、展示されているものよりも
 おもしろいと感じ出して見ると良いと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんが17歳の頃に体験した語を100分にわたり聞き、たけんのことを思いました。今私は16歳で、当時の義三さんと1歳しか違わないという事実には衝撃でした。

小学生の頃図書館でハダジのケンを讀んだことがありましたが、それは被爆者側りの話であるため、今回、兵隊さん側りの話を聞くことができて、とても貴重な時間になりました。

広島の今の風景とは考えられないほどの約70年前の悲惨な出来事を原爆先生を通じて学び、多くのことを考えさせられました。

広島の原爆の話は何度も聞いたことがありましたが、長崎の話をこんなに詳しく聞いたのは初めてでした。

痛々しい話を聞いて、胸が苦しかった。被爆した24万人の事を考えると、「どうして原爆(私)があるのだろう」とも思いました。

最後の義三さんのセブチオトッセーシを見、その状況に私たちがいた人の本心を聞き、この世から原子爆弾を無くしていればよかったと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までには正直、原爆と聞いてもあまりぱっとしなくて、8月6日に広島、8月9日に長崎に落とされたんだという印象しかありませんでした。

けれども今日の原爆先生の話を聞いて今まで知らなかった原爆のこと、原爆の恐ろしさを学ぶことができました。原爆が落とされた場所が広島と長崎で横浜からは遠いこともあって、他人事だと考えてしまうこともあったけれど、原爆投下都市の候補になっていたことを聞いて他人事なんかではないと思えたり、終戦している状況でも怖くなりました。ハダシのパンを読んだことがあるので、皮が剥け落ちていってる絵を見たことがあったけれど、原爆資料館に展示されている写真を見て、更に原爆に対する思いや考えが強くなりましたし、この先、将来の人たちにも原爆投下のことを伝えて忘れさせないようにさせなくては行けないと思いました。

写真や映像を交えたお話で分かりやすかったです。修学旅行では今日のことを忘れないようにして行動したいと思います。お忙しい中ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の話聞き、本当に自分が今生きていること、そしてこの豊かな環境で過ごすことができ、感謝しました。

爆弾が落ちたあの日のことを考えると頭に真っ先に浮かんだのはヤけどをして体全身が火のように真っ赤のまま海に飛びこむ姿の方々です。しかし、今日の話聞き、私のすぐ頭に浮かぶ姿よりも残酷でした。残酷という言葉を使ってしまし申し馬なりですが私はその言葉が頭に浮かんでしましました。軍隊の方々か川から亡くなられてくる方々を背中にしりながら運んだ姿を想像すると私は全身がふるえてしまうかのようにでした。しかし、私たちと同じく50の年齢の女性を助けおんぶして11るときと死体を運んで11るときを思うと天国と地獄のようだったと聞いたとき本当に本当に私の心にしみてきました。これからの日本はどうなるといのか想像できませんか戦争は絶対に行ってほしくない心と心の底から強く今まで以上に思いました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、わざわざ複製に足を運び、講演していただき、ありがとうございました。

戦後から100年が近づくと、戦争当時の体験や出来事を語る人が高齢化していき、もうほとんどいらしゃらぬというニュースを今年の夏にテレビを通して私は知りました。実際に、私たちが世代になると小学生の時に初めて歴史を学び、これまで来ましたが、〇月×日の〇時頃には〜〜があつたなど、その起つたエピソードは知っていますが、それが起つた中で実際に体験して人々にはどのような影響があつたのか。この事実について詳しく語る人はほとんどいないと思います。ですが私は今日の原爆先生のお話しを聞いて耳を疑うほどしつぷりな話しがカッコイイな、とてもためになりました。

原爆先生の講演会は先生のお父さんに当たる、池田義三さんの目線で進んでいきます。先生のお話しするスピードであたり、強弱はすぐ身に染みるものもあり、聞いてるだけで、とてもふるえました。例えば、原爆投下のシーンのお話し場面では、爆風のリアリティーや、ピカールという先生の声でじわが揺れました。

今の時代、このように伝える人が減っている中で、このような話しが聞けてとても貴重な時間となりました。高二になって修学旅行で広島を訪れますが、この思いを忘れずに、広島に行きたいと思います。

今回は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、わたしたちのために、たくさんのお話をいただき、
ありがとうございます。

いままで「原爆について ある程度知っていたつもりでした。
とても恐ろしく、一瞬にして、多くの命を奪い去ったものが「原爆」
であるというのを知っていたつもりでした。

ですが、改めて今日、先生のお話を伺って、「原爆」が
もたらした恐怖、悲惨な状況を感じることができました。いままでの
想像をはるかに超える壮絶な出来事が行われていたのを感じま
した。特に、人が一瞬のうちに灰と化してしまふことや、火傷を負い、
皮がただれてしまふ、その跡は、聞くだけで恐ろしい記録が残る
原爆資料館で、お父様の義三さんが述べた「きれいさびる」
という言葉に、あの原爆を体験された方々の気持ちが、感じさせられ
ました。また、泣きながら朗読される映像を見て、本当に人の命を
奪い去る「原爆」は、残された人にも悲しみを残すことに気がか
されました。また、気持ちの面だけでなく、身体の間でも
後が続く苦しみがあることを知り、つらいなと思いました。

今、ここにわたしの感じたことを全て書くことはできませんが、
多くの得るひかりがありました。

本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の講演を通して、原爆への感心がさらに高まった。
沢山の話を聞いて、今まで知らなかったことも詳しく学ぶことが
できた。広島原爆投下から終戦までの9日間は人間として
とてもつらく悲慘なものばかりだったと思う。また、投下の候補に
なった都市の一つが横浜であったことを思うと、人事のようには
出来ない気持ちに自然と目がうるんできてしまった。亡くなった
被爆者の方の中には、名前や身元が分からない方が沢山
いることを覚えて、原爆慰霊碑へ行きたいと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆先生に原爆投下の出来事についてくわしく教えていただき、当時のことについてたくさん知れた。とくに、原爆投下の候補に横浜や京都が入っていたことに驚いた。また、原爆の火の温度や落ちた時の被害の様子がわかり、ビデオもあったためより想像しやすかった。それにより今まで自分が思っていた以上に原爆の被害はひどいものだということがわかった。

実際に広島で被爆を経験された池田義三さんは、どれほど辛い思いをしたのか身にしみを感じた。自分は軽傷で済んだが、大まなせけどをっている人が周りにたくさんいて、その人たちを助けたいのに助けることができないという場面は想像するだけで心が痛かった。

最後のビデオで義三さんが「原爆について知っても そんな生やさしいものではない」とおっしゃっていて、ほんとにその通りだと思うし、実際経験したことがある人にはしかわからない気持ちがたくさんあると思う。その思いを一生背負って生きていかなければほんとうにかわいそうなことだと思った。今自分がなにじともなく平和に暮らしていることはほんとうに幸せなことだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

正直、怖さと苦しんでばかりだった。私は戦争も知らなければ、原爆がおとされることも、それによって大切な人が亡くなったこともない。だからこの授業を受けて、まず、人の命の重さがものすごく重く感じた。また、人間がつくる兵器が、何十万人もの人達の命をうばう怖さだったり、いつくるか、どこにくるかも分からない怖さ、逃げることもできない放射線や、熱などの体の痛みや死に対する怖さだったり、例えば自分の命が助かっても、周りの人達が亡くなっていったり、また生まれていた人達が目の前で亡くなった(り)、体の傷だけではよく、心の傷もおおってしまうのだと思った。

原爆先生の話を聴き、人が悲しい、辛い思いをしてまで、武力や兵器を使って戦うことは本当にみにしみにし、こういう体験談を聴くにことであらためて、本当に、人の命をうばうようなことはしてはいけないと思ったし、何れも生まれることが一番大切だと思ったり、幸せに生きること。これも今の世の中には必要だと思ったり。これからの未来は、まず自分が幸せに生きること。そして、自分が人の幸せを届けることをしていきたい。

あらためて、命の大切さ、とうとう感じることができました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

感想という形でこの文章を書いて良いのかというくらい、ざっと
したり、びくびくしてお話が夕夕かたである一番びくびくしたのは
戦後60年が過ぎ、原爆資料館におとずれられた時、たたくれている女
性の人形を見て「キレイだね」と言われた事におどろきました。原爆先
生の授業を聞く前に「少しくぼされたパンフレットを見ていて、そ
の時にその女性の人の写真が月に飛び込んできて、夕夕それを
見て鳥肌が立ちました。今の世界からは想像が出来ない様子を
人形という形で見て「キレイだね」とおどろき鳥肌が立ちました私
に達して、実際にその姿を見て、その方々とふれ合... その
場にいた方からすれば、あの人は「現実的」では無い
のだと思... ました。私達から見る ある意味「二次現、たったり
「夢、たったりする事が実際に体験された方々からしたらそれが
が「現実、であり「過去、なのだ」という事は忘れては行けないと思
った。この今思われている世の中に感謝すると共に戦争は
したくない、戦争はちがはならない事だ」という事をあらためて
感じ、戦争について少し理解がまたと思... った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受講し、原爆について、知っている方が多い
 ことばかりだなぁと思いました。例えば、原爆が投下された広島と長崎について、
 詳細にその2つの着弾に投下されたが、なぜ、単純に理由が決まったわけではなくとも
 知ることも出来ませぬ。津波の津山のおがやドも負。アコトヤ、熱く2川へ船び込み
 そのまじくした方がいることは知っていました。今まではほとんど聞く聞いた
 だけで、その恐ろしさを今日の授業を通して改めて感じました。

原爆先生のお父様のお話を聞いて、助すけたいやどけりうもたい程、
 酷かったことが伝わりました。助すけたくても助けられない状況でなく、
 今まで見たことないくらい酷いやドや作が負、いる方が周りに津山
 いて、せくはっている方の体の状態も酷かったと聞いて、知がもしその場に
 いたら耐えられないだろうなと思いました。しかしその中でも、自分や子
 びき仕事をたす、た原爆先生のお父様や軍人の方があつたと思ひました。

当時のことを思い出すのは辛いと思ひますが、こうして伝えられた方のお話を
 をしっかり聞き、原爆についての学びがなければ、いけないと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞く前は原子爆弾が落とされた日、場所などがあまりよく知りませんでした。しかしこのお話を聞いて原子爆弾とは本当に危険なものだと改めて感じました。一瞬で約2万人もの人の命が奪われる。本当に怖いものだと感じました。そして改めて私は恵まれた環境、時代にいるのだと再確認しました。この環境時代に生かされていることに感謝して生きていこうと思います。今のさらさら平和な時代が続くように私にできる精一杯のことをやっとうとうとしたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

小学校高等学年から広島原爆のことは学びました。でも、実際に体験した方からお話しを聞いたのは今回が初めてでした。池田先生のお父様である池田義三さんが書いた日記を言葉で伝えて下さり、ありがとうございます。また、原爆が投下された日のことを詳しく丁寧に伝えて下さり、私は想像することができました。しかし、私が想像するよりもはるかに酷く、もっと悲惨な事だと思つて、心臓が痛かっただけです。義三さんが助けた女性の方の手紙を送りおえしたことにとても感動しました。

原爆について、私達に多くのことを話しして下さいました。広島、長崎だけでなく、京都や今私達が住んでいる横浜も候補にあがっていたことは知りませんでした。原爆をのせてB-29の機長や乗組員の方にも原爆を投下した時、講に出たことが、と聞いて、原爆は誰もが恐ろしいと思う兵器なんだと思つたと同時に、原爆などの核兵器は一切あつてはいけないと思つきました。

そして、今日改めて「原爆」「戦争」とは何かを考えることができました。また、命があるという素晴らしさに気づくことができました。本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は広島に訪れたこともないし、戦争体験者のお話もほとんど聞いたことがありませんでした。また、原爆投下について授業どしが学んだことがありませんでした。今日はじめてなせ広島と長崎に落とされたのが、また亡くなった方の人数について知りました。「原爆」と聞いては漠然とした怖いというイメージしかなかったけど、原爆先生のお話を聞いて被爆者の方は3000℃の中激しい痛みにあえいで苦しんでいたこと知り、本当に悲しかった。恐ろしいことだと思いました。

お話の中では、目を閉ざしたくなるようなショックもつなこともあったけど、この出来事はまぎれもなく事実であり、今から約70年前に本当に起こったことです。今と生きる私たちは絶対に忘れてはいけません。これから先を伝えていくことが使命だと思いました。実際に戦争を体験した方が少なくなっている今だからこそ、私たちがしっかりと戦争について学び同じあやまちを二度と起こさぬようにしなければいけないと思います。

今日原爆先生から教わったことを決して忘れず今後戦争について考えていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回 原爆先生のお話しを聞き 自分が想像していたよりもはるかに
悲惨なものでした。前に「裸足のげん」^①というマンガを読んだことが
ありそのマンガにも被爆者の悲惨な姿が絵描かれておりそれ
だけではしつうけ^②きを受けていましたが今回お話しを聞き、より詳しく
当時の広島の様子を知り今の時代を生きている私達には想像しても
しきれない程の悲惨さを改めて感じました。

「天候が悪かったら...」^③と考えるしまいました。また、太陽より1000℃も
熱いと聞き90℃でもとても熱いと感じるのに7000℃といったら
どんた^④に熱く、そしてどんた^④に苦しんだ^⑤のか考えるだけでも鳥肌
かたち^⑥まる。また、原子爆弾投下候補都市に横浜がはいっており
今自分が住んでいる町が候補都市に入っていた事に驚きました。
今回お話しを聞きとても良い機会となりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は私たちのためにお話をしてくださってありがとうございました。
お話を聞いて自分が思っていたよりも原爆の悲惨さが分かりました。
原爆の日の映像を見てまるで自分がその場にいるような緊張感
と悲惨な現状にとても胸が痛くなりました。どうして原子爆弾
を落としてしまったのかと疑問になりました。今ではとても平和な日本
ですが昔に悲しい出来事ばかり起きていたのかを知ることが
将来大人になっても役に立つ良い経験になりました。お父様のお話
からその日の出来事が詳しく分かりました。大変な思いや辛い思いを
している人に少しでも力になりたいと思いました。このようなことが
起きないようにこれから私たちが平和について考えなくては
いけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

日本史の授業では原爆については簡単な内容しかやっていないけど、今回の原爆のことについて話を聞いて広島や長崎に投下されるまでの経緯や原爆のしくみについて詳しく分かりました。原爆は最初とても単純に認識していたが、爆発のときの映像を見て原爆はとても恐ろしいと思いました。キノコ雲がたんたんできるしくみについても気流でできたものだとよく分かりました。

戦争についてよく知る機会がこれから多くなっていくことを今回の話も心に留めて、戦争が知らない人が増えていく中で、後世の人々に当時の状況を今後は私たちが説明をして伝えていかなければならないと思います。二度と戦争はやってはいけないと改めて強く思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島や長崎に原子爆弾が落とされたという事は、小学校の頃からずっと基本の知識として学んできてつれてきた。今日、お話を聞いた、教科書や本で学ぶというのは、原子爆弾が落とされたという事実を学ぶだけであり、本当に実際に体験し、感じることによって、お話を聞くのとでは違いがあるということを感じさせられ、同時に、放射線のことなど、自分から調べたいことがあれば、調べたいと考えさせられることが多くありました。

以前、日本史の授業で岡さんの話を読み、今回は原子爆弾をどのように落とされたのかを知ることができて、とても悲しかったのかを知ることができてよかったです。

広島の実験ドームに展示されているものを見、どのような状態だったのかを知り、もとをたずねてから、記念碑の前に立ちたいと思います。

最後、5分間見た動画で語っている人がどのような気持ちで話しているのかもとをたずねてから、人に伝えていきたいと思っています。

今この瞬間を大切にしていきたいと思っています。

今日のお話をして下さりありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は夏休みの作文で、戦争について自分なりに書いてきたのですが、今回の原爆先生の特別授業を通して、自分には言葉にするほどの出来事ではない位に重い出来事であり、どの程自分が理解しているかと思っても被害者の方から見て第三者で、何を言っても感じも全てが口虚、しかも、作詞者のように自分でもうんてしかり、とやうかしてけりものTPOも知らないと痛感します。今回の場合経験に勝敗が付くものでもないと思いますが、経験に勝つものではないという言葉をよく耳にするのは、体験者と非体験者の壁はとて厚く高いものTPOだと改めて実感します。もし私が74年前の8月15日午前8時15分に広島にいたら、どう考へると恐らくどけいけりもの不安に襲われます。しかし「もし」では無く、あの当時実際に広島にいた35万人の尊い命があったと思ふと、当時の方にどんな言葉をかければいいのか、どの様に手を差し伸べればいいのか分かりません。私と似た感じはTPOとかがあります。義三さんが177人の隊士を後援し、二期生と2隊の上にはTPOというTPO、そんな若者さんにも上層部に入れたTPOという程、日本は世の話を、TPOのTPOと思ふTPOのTPO同時に、どけいその程を戦争経験したのか、しかしそのTPOとどけいどけいすればいいのかも分かりません。

TPOのTPO、TPOを活用し、後世に伝える必要があると思ふTPO



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回お話を聞いて、改めて原爆の恐ろしさを知りました。また、日本史の授業で行ったグループプレゼンテーションの時に、私のグループは原爆投下をテーマに調べたので、ある程度のことには知っていたつもりだったけれど、また生で知らぬことも多いと実感しました。

原子爆弾投下の候補になった都市に、横浜があとにもおとぎま。

他人事のように考えはしていけないと強く思いました。8月6日や8月9日に

「今日は原爆が落とされた日だ」と思い出したり、普段のお祈りに

加えて、被爆した方やその家族の平和を願ったりすることはあった

けれど、正直どこかで他人事のように考えはしていた自分が耳が痛かしく

なりました。だから今日お話を聞いた本当に良かったと思ったり

修学旅行で広島に行くことも嬉しく思います。そして今日詳しい

お話を聞いて、前より原爆のことについて興味をもったので

これからも色々調べてみたいと思います。

最後に、実際に当時働いていた人や被爆した方の家族などの

気持ちや全てを理解することはできないけれど、たくさんの人に

この話を聞いてほしいと思います。また、もう絶対に同じ話を

繰り返してはいけません。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の事について深く詳しく知りたいと、ありがとうございました。私が印象にのこっているのは池田さんのお父さんのお話です。当時に直接被害者の方と知り、思い出と辛いというのを動画で見ると伝わりました。私は小学五年生の時、祖父と祖母に誘われて島に行きました。そして原爆資料館へ行きました。小学五年生の当時は原爆についてよく知っていません。資料館を見た私は大至は衝撃を受けました。1つ1つの写真や展示されたものを信じられなかったし、その方がこの広島、長崎が起ったことと、とても悲しくなりました。だから、池田さんのお父さんは原爆で亡くなった人に対して「生かした」と言っていたことを聞いてとてもおどろきました。池田さんのお父さんはとても辛い思いをしてたと思うし、言葉に表わせないくらい悲しく、悲惨なものを直接見たことを実感しました。そして一番おどろいたことは原爆爆弾のあたりです。とてもあついとは聞いていたものの7000℃と聞いて本当におどろきました。太陽のあたりで6000℃、土にあっては2言葉で表せばいいあついのだと思いました。広島では2人が死亡している、死亡率が40%というのを聞いて、原爆はとても恐ろしい物だと実感しました。池田さんのお話を聞いて原爆から目をそらさないで、高2での修学旅行でも原爆について学びたいと思いました。池田さんのお話は絶対に忘れないです。

本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は思っていたよりもはるかに悲さんで
しょうげき的なでき事だと特別授業を聞いて
思いました。原爆とう下後の様子は聞いて
想像するだけでも恐ろしいのに現実で体
験した人は本当に苦しんだり、つらかったのだらうと
思いました。

また、あまり知らなかったアメリカ側のことや原
爆の威力を知って、決して二度とこのような
ことがあてははりなと強く思いました。

私は最後の義三さんの手紙の「現実と記録
に、余りに大きな差があった」という言葉がとて
も印象的だった。

お話ししてくださってありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

傷学旅行の前に原爆の話が聞けて本当に良かったです。

今まで何度も原爆についての話を聞いていたのですが、今回は今までと異なり、被爆者の方の目線から学ぶことができました。

たくさん犠牲者の方がいた中で、その方々を葬る方について、辛い思いをした人がいることに改めて気づかされました。

原爆はたくさんの人を殺すだけでなく、残された人にも心に深い傷を負わせ、本当に悲慘なものだと思いました。

私はアメリカ側の考えに怒りを感じました。原爆にどのぐらいの効果があるのか、どうすれば被害を大きくできるかばかりを考え、そこに住む人々のことを考えていなかったからです。戦争は人間としての心を失わせ、変えてしまうのだと思いました。

最後の郵画で被爆者の方の声を聞き、私たちに想像もできないほどの苦しみを負っているのを感じました。

今日学んだこと、感じたことを心に留めて、傷学旅行に行きたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回聞いた話は衝撃的なものであった。今までは原爆についての知識はある程度あると思っていた。小学校の時、図書館に「マシのゲン」という本が置いてあり、昼休みによく読んでいた。本の中で当時の様子はとても悲惨だった。しかし今までは被爆者の方の直接の話を聞いたことがなかった。原爆の時、助けた方は本当に優しく助けた方があり、あの時、あとにいつかは、歩幅にいけばせしめていたと思えば本当に怖いと感じた。后日の話が一番衝撃だったのは、何の形も残さず、黒い影だけを残してしまっていた方がいたということだ。また消えてしまった方も崖に落ちてしまったのが2万人もいた。人間が黒い影だけを残して消えるなんて想像もできなかった。映像にそのことが再現されていたけれど実際にも人間が起ったなんて信じられなかった。この地球におこるのはありえないと思っていたのが長崎と広島でおこっていたのが言葉では表せきれないほどの悲惨さだったのを感じた。原爆先生のお母様がビデオの中で涙をかきこいて、何十年たってもその光景が忘れられない心に残っていて、その海を見て、心が本当に痛かった。原爆を実際に体験した人は后で大人とかなって、后日聞いた話を将来、若人に伝えることが本当に大切だなと思った。戦争が止る、海軍が去る、家があり家がなくなることは当然だけれども幸せなことに改めて感じた。后日、聞いた話をたのびに修学旅行に行きたいと思う。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について小学生のときから習ってきたもののこころを
深く学ぶ機会はなく、それほど知識もたがは私にと
て今日お話ししてくださったことの一つ一つが、激情的に
心に響くものとなりました。話してくださる言葉の一つ一つ
が本当に重く心にのしかかり原爆の恐ろしさを改めて強
く感じました。実際に被爆した人しかわからないうつら
く悲しくその恐ろしいことがたくさんあり、今このように平和は日
常を送っている私たちに一生涯その痛みを理解することができ
ないのではないかと感じました。それは数十年前
この日本でこのように悲惨なことが起こったのだと考えると
本当に悲しいですし、怒りさえ沸いてきます。被爆した方
が、二度と戦争はあるまいと語りおりに未来を担っていく世
代としてこの過ちを二度とくりかえすことがないよう今日のこ
とを心に留め過さぬようにしたいと思います。今日は本当にあ
りがたうことだと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今更原爆について「漠然」と「原爆が落とされた」その事実には
目を向けていませんでした。「江戸川のケシ」や「様々」は著書で「分かっていた
けれど、全く現実には起きていたものと、認識していませんでした」と思います。

生まれた日が「8月6日」ということで、小豆田頃から原爆については
知っていました。けれど今日の三浦先生のお話で「炭化してしまうこと」や「
初めて知ったこと」もありました。原爆については知らぬ者も多く
と聞きます。けれどこの新しい世代に、私達が見、聞いていることを語り
継いでゆくべきだと改めて思いました。

突然走った閃光。7000℃にもおぼろげな熱。無責任で心無い一言
に「何もしようか」も知れませんが、さっさと「何故自分が事絶え
か気が付いたのか」と感じます。同じ様に周りの方々も何が起ったのか
分からず「何」も一瞬で、2万人の方々の命を奪い今もなお
身体を触る、そんな兵器を作ってしまう人間が恐ろしく感じます。
うそ言葉にまどめられず、支離滅裂に「何」も言えず
申し訳ないです。

けれど未来永久に二度と起すことは「何」も出来ず「何」も世界
を必ず作りたくありません。下節から「何」も今の内に、語りつづける
方がいらる。これには沢山学はなければならぬと感じました。

本当に貴重なお時間 ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆がいかにも酷かったかというのは今まで授業で習ってきて、特別教室で聞いて分かっているつもりでした。池田さんの実体験を聞くと分かっているつもりでいた自分自身かとても恥がかしいです。

今回の授業で聞いて一番驚いたのは「7000℃の少年」です。太陽の熱さが6000℃で更に1000℃熱かったものがたつたスカイツリーの高さくらいのところにあったと聞き、肝が冷えました。外にいた人々が消える、すごく恐しいです。今私が生きている日本は戦争の面影はありません。とても便利でとても平和な世界です。その為原爆、戦争といったあつたはならぬものを授業で教えてもらっても忘れてしまいかちです。もちろんどんなに酷かったのか真実を知っているのは経験した方しかいないと思います。それでも経験者の方々から人へ人と語り続けていけば悲惨であったことが伝わると思います。

しかしそういった機会はそうそうありません。なので今回池田さんの話を聞けてとても良い体験をできたと思います。

原爆を落とす候補の中に京都があつたのにもとても敬慕しました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/11

お話を聞く前は正直、原爆のことは授業で学んだし、小学校の時にもお話を聞いたことがあり、何かを学べるか新しい物を得られるとは思っていませんでした。でも、私のこの考えは間違っていました。お話の前半、今まで聞いたことがあったことなどもありましたが、前に聞いた時よりも身近に色々なことを感じました。本当にその場において原爆の害にあわれた方々の苦しみ、悲しみ、つらさを私が感じられる訳ではありません。でも、感じようとし、分ろうとして、自分なりに本当はもって大変だったということは分かっているながらも今まで感じたことのない感情になり、心のおく底に衝激を受けました。お話の途中、悲惨な事実を改めて知り、耳なりがし、落ち着いてはいられなくなりました。最後に池田先生のお父さまが、広島に60年ぶりに訪れ、実際より悲惨ではないというような言葉を口にされたと聞き、私が今日感じたことよりもはるかに悲惨でつらい体験を実際にされたのだなと改めて思いました。

今日感じたことは一生忘れない私の財産になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、国語の授業や日本史の授業で

原爆について学んでいた、原爆とは何かというのは、ある程度

知っていたけれど実際に経馬先生の話をじっくり聞くのは

はじめてだったのですごくいい経馬先生になって、改めて原爆が

どれほど恐ろしいものなのかを知ることができました。

被爆者の方たちは両手を斜め前方に下げ歩いていたり、

痛さに口をきいていたという話がありました。想像するだけで

心がすごく痛かったです。あとは爆発の熱さで人が一瞬にして

消えるというのにはとても驚きました。原子爆弾は太陽より1000℃も

熱く、その中心は100万℃と聞いて驚きました。

原爆がどうして広島と長崎に落とされたのかや、なぜ原爆雲が

できたのか、私の知らなかったことをたくさん知ることができて

すごくよかったです。

今日聞いた話を忘れずに修学旅行で広島を

訪れたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆を 実際に見たり 体験したりしたことはなかつたので ただ 漠然と 重い話だからしっかり聞かなきゃいけないという思いで 最初はいた。でも 原爆先生の原爆当時の 緊迫した様子を 私たちにも感じさせてくださる授業のおかげで、ただの過去の出来事として 私たちが目をそむけてはいけなかったと思った。もちろん 私が発した一言や 小さなことで 戦争になることはないけど 私たち一人ひとりが 戦争がどんなに 厄いなものか、くり返してはいけないものを理解していないと、また同じことのくり返してしまおうと思った。

また、今回の授業で一番記憶に残ったことは 原爆先生のお父さんの話している時の表情です。最初はたんとと話してつづけていたのに、途中で当時の記憶からお父さんをながしてしまおうというところが 私たちが理解しきれない 戦争による心の傷があったような気がして、本当につらくつりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は、私が想像していたものよりも全然恐ろしいものでした。当時の原爆投下の時を体験している人にしか分からない悲しみ、恐ろしさが動画を見て伝わってきました。そして心の底から語ってくれていることを実感しました。原爆資料館の中の様子を少し拝見しましたが、あの姿よりもひどいということに、私は何も想像することができませんでした。今もなお日本には原爆症で苦しんでいる方がいることを思うと、原爆は本当に恐ろしいものだと胸が痛みます。原爆が太陽よりも熱いということを聞いた時、私は本当に衝撃を受けました。その時初めて、原爆をとってもリアルなものに感じました。このような事実が本当に起きていることが本当に信じられません。あの1つのかたまりで14万人もの命を奪ったことは何年経っても償いは消えないと思います。そして、今日お話しはたくさんの方が聞いた方が良かったと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/10

今まで"原爆の 写真や 動画 など"を見たことがあるが"

今回 池田 義三 さんの 体験した お話しを 聞いて 知らない
ことが"また" 沢山あることに 気づきました。

人間の 姿 ではなく になっているとか、 やけど"を おおって
いるなど" 想像 するだけで 恐しく なります。

アメリカ人 など"もしっかり 日本 の 事を 調べて 原爆を
落とす として いた 事に 初めて 知りました。 原爆 先生 の "ドン!!!"
と言う 声に 飛び かわって しまいました。 実際は もっとも 多
き"音 だった と思います。

横浜も 候補 に入っていたとは 知らなかったです、 横浜に
落とされて いたら また 日本 が"少し 違う" と思います。

地上から 600m の ところで" 太陽 より 高い 7000℃ で"
あった ことが"びっくり しました。

今が 平和 な ことに 気が つか しました。

原爆 が"二度 と 起こらない ことを 願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業で原爆のおそろしさがとてもわかりました。

正直、自分が考えていたものとは比べものにならないくらい

怖い出来事だと感じました。

日本史の授業や、現代文の授業で『黒い雨』を読んで、だいたいの

ことは知っていると思っていました。しかし原爆先生のお話は、とても

リアルで、耳をふさぎたくなるような場面も多々ありました。

3分くらいの動画で原子爆弾が落下する瞬間を見た時、

人が一瞬で消え、人の形に跡がのこるということにとてもおどろき

ました。また、太陽の表面温度が6000℃なのに7000℃の球体

が地上から600m近くにあつたら...と想像すると7000℃がどれだけ

の高温かがわかりました。秋、夏になると25度〜30度で暑くて汗を

かいているけれど7000℃は比べものにならないと思いました。

池田義三さんの動画は本当に印象的です。原爆資料館の展示を見て

「きれいすぎる」と言ったのが胸に残りました。修学旅行で訪れた時、

その言葉を忘れないうようにしたいととても思いました。

今回のお話は本当に聞けて良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

よくある文だけれど、日本史等、学ぶ前からニュースなどで原爆から何年と
いうので広島、長崎に原爆があったのは知っていました。でも原爆がどうい
うものなのかを全く知らず、大きな爆弾で死者がすごいというイメージが勝
手にありました。この前日本史でどうい経緯で原爆が落とされたのを知りました。
そして今日来て、失礼ながらテストがやっと終わるという時にどうしてはやく帰りたいんか
と少し腹を立てていました。すみません。時間がどんどん迫っていくうちに寝ようかとか
今思えば馬鹿げたことを思っていました。そして先生の話が始めると、とてつもないけど
眠れるような話ではありませんでした。むしろ目を見開いてしまうほど驚くような話が多
くて。また話を戻すと、川が赤い海となっていたという話は、聞いたことがありまし
た。やはり無知な私には何も想像できず、どうして川に飛び込んだのだらう。とかえ
んな疑問で終わっていました。先生の話から7000℃というワードが出た時、想像も
できず、太陽よりあかど分かった時ふるえてしまいました。お父様が体馬便した死体を
運ぶということやお父様が見たトラックで見た光景は本人しか分からないで
しょうが、無知だった私の心にはかなりの刺激が与えられました。何度もおうとし
たと聞いた時、どれだけ辛かったのかと考えたら想像も出来ませんでした。
修学旅行に行く前に先生の話を聞いて本当によかったです。ありがとう
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

原爆のことをなんとなく知っていたものの、
 どうして広島、長崎に落とされることになったのか、
 キノコ雲がどうしてできるのか、なぜ一瞬間のうちに
 死んでしまってしまうのかなど、細かな所まで
 は知らず、自分がいかに無知であったかとい
 うのを、今回の講演をきいて、あらためて
 自覚できました。

原爆の痛みや苦し^{そつらい}み、これらすべては、これ
 からの世の中に繰返してはいけぬ歴史であり、
 語りつがねば歴史です。それは、日本国
 内にかぎった話ではなく、世界中の人々が知るべき
 ものであり、それを知ったことにより、決して多
 くの人が、核兵器を造るやうな怒力をしなければ
 なりません。

戦争と核兵器を〇にする、というのはいくらも
 言われてきた問題であると思^田い、それが、入るに
 できると思っながら、今、私達に出来るかぎりのことをして
 いきたいと思^田いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことは、小学校のころから授業などで何度か聞いたことがあったけれど、あらためて候補には横浜も入っていたことや、目標地点がありしっかりと計算しておこなっていたことなどを知りました。原爆資料館の内にあり、女の人の姿の写真がうつっていたときには、正直思った以上に怖いと思いました…。しかし、実際はそれほど怖いものではない、言葉だけでは伝わりないとふるえながら言っている姿を見てそれ以上であり、きっと私には想像のどきないくらいに、怖く、おそろしいものだ、たのたのと思います。表面温度が6000度をこえる太陽よりも熱いものから空からぶら下がる本当の怖さかうたがってしまうくらいに、想像がどきないし、同時の人たちの痛みや苦しみが、わかるだけではないけれど、絶対にわかることのどきないことだと思います。時が過ぎていくたびに、その出来事がおそろしくわかるようになっていくのが正直に悲しいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いて原子爆弾は自分の想像をはるかにこえる威力だということが分かりました。太陽より熱い熱線はとてつもないです。三分程のビデオで人が原子爆弾に落ちていっしょに消えてしまったのは信じられない映像でした。先生のお父さんの体験談ではさらに原子爆弾の落とされた後の町の様子、人々の様子が詳しく知ることができました。池田義三さんが荷台に原爆した人々をのせて助けてあげたいと強く思っていたにも関わらず、助けられず何もすることができなかったことは本当に辛いことだったと考えると胸が痛くなりました。原爆資料館の記録と現実と余りに大きな差があったというのを聞いて、今私達が原子爆弾について学び伝えることは大変だと改めて感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆ドームや資料館と中学生のときに訪れたことがあつた。
 その当時はあまり詳しいことは知らず、ツリジの花が綺麗に咲いておどろいたこと、あと十数年早く生まれていたら
 このような被害にあつたのかもしれないと思うと、とても辛くて
 あること（今が）に気付く、とても心が痛くなったことを
 覚えています。
 アメリカのした行為は決して許されることではないけれど、
 今こうして、この出来事から沢山のことを学び、繰り返さないよう
 心に留め、この人たちの分まで生きよう取心があつたことが
 生きようとすることが大切だと思つた。
 横浜も候補に入つていたことは知つていたけれど、
 もし本当に落とされていたらと思うとゾッとあつた。
 義三さんの話から、当時の事も想像してあげたけれど、
 私の想像以上に悲惨で、残骸な体験をされたのだと思う。
 涙を流しながらもお話を必死に聴き取つた。涙に心を打たれたし、
 一つの言葉が心に沁み込んだ。広島で被害にあつた方たちも
 突然、亡くなった。生活が壊れてしまったというように、
 私の身にもいつ何があつたか分からないので、今日できることを
 精一杯やって生きていこうと思つた。今日は、ありがとうです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いて改めて原爆は恐い物だったのだと知ることができました。

私は原爆は広島長崎で沢山の人が放射能や熱線のために亡くなったという

所までしか意識していませんでした。けれど今回原爆のお話を聞いて原爆だけで

行く太陽の熱からも苦しいこと。沢山の人がどんな風に亡くなったのか、どうして

広島・長崎だったのか、それを体験した人はどんな思いだったのかを

知ることができました。原爆によって苦しんだ人達の傷は一生治らねえと

思います。せめて今の時代では幸せを見つけてくれたらいいと思います。

また。原爆はとても恐いもので二度と使ってはいい兵器だと私は

感じました。戦争で原爆を体験したことがある人にしては本当の全ての苦しみ

を理解することはできないけれど、今私達はこの話を聞いて戦争

や原爆の恐いを少しでも理解して次の時代へと語り継いでいけたら

戦争も原爆も行くはずがもしかもしれません。そうだったらいいなと思いました。

改めて戦争や原爆の恐いさを考えさせられたお話でした。ありがとう

ございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

私は英語の授業の中での発表で広島原爆についてを
発表し、色々調べていたんですが、今日話をきいて、もっと深いに
かがみ、とても勉強になりました。原爆を落とされる候補
になった都市が広島・長崎以外に横浜・新潟・京都・小倉
があることをはじめて知りました。話をきいて、表現がとても分かり
やすく、どんな感じなのかと想像してみると悲惨な姿が目の
裏につきます。でもそれは実物ではない。原爆先生のお父様は
残酷な悲惨な姿と自分の目で見て、その方たちに手を差し伸べたり
助けたり、またはもうたかたかたの方を背負い運んでいたりして
本当に凄いなと思いました。私だったら、残酷な悲惨な風景が
見えたらどうしていったらいい。私はちゃんと手をのびることが
できるのか。そんなことを考えさせました。

アタリのことなのに、今、現代の人までには伝わり、これから何れも
何も知らない人でもこれから知ってほしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の原爆先生の話を聞き、改めて原爆のおそろしさ、怖さを知りました。被爆者の方々の皮膚がただれ落ち、兵隊の人達が乗っているトラックに乗ろうとして兵隊の人が上にあげようとしても皮膚だけが残り乗ろうとしていた人達は更に痛みを感じるという所では想像するだけでもおそろしく頭が痛くなりました。原子爆弾も太陽の表面よりも1000℃もあつく想像すらもできませんでした。原子爆弾が落ち、目の前にいた親子も一瞬にして体中の水分が失くなりすみのかたまりになりそのすみのかたまりもどこかに消えてしまうという出来事も信じられないぐらいでした。最後の池田さんの映像の時に、思い出しながらその時の状況を話し、所々とても辛く、思い出すのも話すのも嫌だろうけど今後被爆者の方も少なくなり、伝える人がいなくなるから私達のような若い人達のために話して下さっていたのがとても見えて心が痛かったです。今年で私達が最後に広島に行き、被爆者の方の実体験の話を聞けるので、心して聞こうと思いました。貴重なお話、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

実際に体験した人のお話を直接聞いているからこそ伝わってくるものがあったように感じました。少しは聞いたことがあった内容もあったけれど、原爆が落とされた当時の様子が勝手に想像でまじってしまうようなお話で、特に、原爆投下直後の被爆した人たちの体の様子についてがとても印象に残りました。

当時の様子が伝わってくるのと同時に、太陽より1000℃も高い温度のものが私たちの地上にくるなど今まで知らなかったことも知り、原爆はとても怖いものだと改めて実感しました。原爆についても、常識として知っているだけで、綺麗ごとを言っただけいけないほど悲惨なものだと思いました。学んだからこそ自分の中に感じた思いを大切にして修学旅行に行き、新たなことを感じたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

母に原爆ドームに行ったときのことと家が閉まりました。でも、
今日 実体験のお話を聞いて全然私は原爆のことを分かって
いなかった。たぶん「^{たぶん}」ということがはまりと分かりました。みんな分かって
いるようでその悲愴さは見た人しか分からないものがあると思
います。日本史で「はだしのゲン」の一部が配られました。漫画でも
目を背けたくなるのは、現実が起きたら私はどうな
ってしまうんだろうと本当に思いました。そして自分の無知さを
良く知ることか「^{また}」なと思います。歴史をやったことは
すたのみに、良く知らなかったことをばかりで「^{原爆}」のビデオを見
て写真で見たことがなかった。そのことが映像で「^{黒い雨}」も
見た。黒い雨のことが分かりました。「黒い雨」を現代文でやりました。
いつ聞^くても原爆は恐ろしいということを毎回「原爆」といっ
葉を聞くと「^び」に思います。今でも「^び」の人の被爆者の方
が住まておられると思います。私の身近な人では「^び」
今回の講演が修学旅行で広島に行くときはいつも
「^び」を引くようにしようと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回お話を聞いて改めて、実際に起こった悲情が何となく身にしみて感じました。今朝のニュースや番組などで見聞きばかり、
「お金のゲーム」を読んだことがあったけれど、どの話も壮絶では
あつたが詩の理解が深かった。このことがありはく、良山がいて、
いつか過ぎてきたことが出来る。現在、当時の様子を詳しく話せる方
が少なくなっているという事を知っていたため、本当に貴重な
お話を聞くことができた。良い機会であつた。と思った。今回の話は
はじめて、とてもいい衝撃であつた。心に深く残っているのは、
被爆皮膚がたたく先生のお姿である。池田義三さんへの助けを
求めるという話だ。全身にやけどを負い、真の赤い肉が見えた。中々
皮膚がはがれ合中せよ。手に手を斜め前へ出し、右左左左する姿を
若くして入隊された義三さんは助けを求められず、通過するだけ
という。心が痛く、悔しがるものであつたのだらうと思ひました。
もう既に終わった。だからとばかり、自分の命のかわりに
犠牲になつた。だから感謝の「奉」を祈り、一日一日を大切に
生きていこうと思ひました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて初めて知ったことが
沢山ありました。まず原爆を落とせる候補がもつて
ありその中に今学校がある横浜、今劇学旅行で
行く京都が入っていたことです。いつも授業でならうの
は広島と長崎だったのでも驚きました。もしあの時、
京都に原爆が落とされていたら今の京都の町はど
のようにならっていたのか不思議に思います。

驚いたことは原爆の威力でした。熱線、衝撃波、放
射線とて、一瞬、何日もの間、そして何十年もの間で人を
苦しめる爆弾。話を聞いただけで心臓がバクバクし、
体がゾッとしました。でも、ビデオで先生のお父様が
原爆資料館の人形を見てきれいなまると言っていたので
言葉で書いても言っても本当の人々の姿は伝わらないのだ
なと思いました。

これから戦争を起こさないためには、私たちが
きちんと日本や世界の歴史を学ばなければなら
ないと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話をしてくださりありがとうございました。
 貴重な話が聞けて良かったです。私は家に
 『はたしのケン』が全巻あって、そんで読んで、
 原爆のことも知ったふうに思っていました。
 けれど、今日の話を聞いてとさ方が変わりました。
 小学生のとき、広島に行ったことがあり、
 原爆資料館にも行ったことがあります。その
 時に見た、リアリにつくされた被爆者の人形、
 がすごい印象に残っていました。最近その
 人形が過激なため回収されたというのを
 新聞で読みました。本当にそういうことがあつた
 のに、怖いかいさという理由でなくしてしるすのは
 おかしいと思いました。今日の話を聞いて
 アリカが原爆を落とす場所を会議を
 聞いてまで真剣に決めていたことを初めて
 知りました。また、太陽よりもあつたなんてことも今
 日初めて知りました。これからの未来、原爆が一
 生使われたいことを願っています。今年100
 歳になった祖父にも戦争の話についてみよろと思ひ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初から最後まで衝撃なことはかりでした。

小学生のとき、「はだしのゲン」を読んでいた、
原爆はパラシュートで落ちてきたと描かれて
いたので、とそんなのかと思っていました
が、まさかゾッゾッテたつたな人でびっくり
しました。

池田先生が原爆の落ちる音を表現したり、原爆
の落とされた瞬間のビデオを見て、本当にこの
ような事実が74年前に起ったのかと思うと
恐ろしくて言葉も出ませんでした。

池田先生のお父様のビデオで、当時の様子が
まるで昨日起きた出来事かのように、ふるえな
がら必死に話していた姿がとても印象的
で、私達は知った気になっていてまだ本当の
事実を知らずにいたのだなと感じました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆について実際に広島に行って見たりしたけれど、その時は昔に起きた大きな出来事だ"としか思っていませんでした。

しかし、今回、池田先生のお話を聞いて原爆の悲惨さにとってもしつう撃を受けました。同じ広島にいても少し場所が違うだけで命が関わってくる事や、生きていても、人間のように人間でないような姿があったと聞き、驚きました。今、私たちが生きている中では何にも例えられないような実体験のお話は、想像をしてもしきれなくて複雑な気持ちになりました。実際に体験をした方達の痛みや苦しきは全て分かることではないけれど、原爆の事実を知ろうとすることはとても大切な事だ"と考えさせられました。アメリカ側は原子爆弾の力を最大限に生かせる場所を選んで投下したと考えると心が痛みます。当時、広島にいた方達も今の私達と同じように日々をおくっていたと思うと人事のフウに感じていた自分自身がバからしく思えました。今、世界では核の問題など"がありますか"。そういうこともきちんと自分の頭で考えて問題が"どのようになっているのかを整理していきたいと思えます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について何度も聞いたこともあったし
知っていたけれど、実際に体験された方の話をうかがった
のははじめてでした。とても良い経験だった。

小学校2年生の時に原爆資料館をおとされたとき、
あの模型がとても恐ろしく感じたのを覚えている。でもそれは

実際よりもまわりのほうが怖いことを知り、驚きをかき消した。

最後の5分間の動画で、涙をこらえきれずに泣いていらした。そして

これは実際にあったことだ、たれもわすれてはいけないことだと

強くおもった。

助けると言われても助けられない。そののは心臓に刺さる

その人の腕がなぐらわれてしまったり、自分がその場にいけらと

考えたりして嫌だった。そして同じ人間なのに人間に化すと

人間のようには見えず、無数の遺体を片付けて焼いた

そのおぼろげな悲げをもう二度とくみ返してはいけないと思った。

私たちが大人になったら、今の私たちがおぼろげな話をまけて

い子供がたのしみで聞かせるの、今日うかがった話、そして広島を実際におとされた感じたことを、発信していきたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆については今まで何度もお話を聞いてきたが、今回が本当に
原爆の怖さなどを見にきて感じました。

映像やお話を聞いていただけでも本当に怖さを感じたので、
私が本当に原爆が落ちてきた現場にいたら怖すぎて何も出来ず
にただひたすら泣き叫んでいるのだと思います。

原爆の惨害を言いたいためには沢山の命を犠牲に
してまで原爆を落とした。それに私は今日の講演を聞き
とても憎く腹が立ちました。

約75年前は広島と長崎に原爆が落とされた。もしも
横浜に落ちていた可能性もあったというのを知り自分は
関係ないとは思えず、真剣に考えたいと感じました。

最後に本当にもう原爆が二度とないことを
祈りました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について、小学生のときに見たテレビのドキュメンタリーを知りました。ガラスの破片が「体中に突き刺さっていたり、全身にやけどを負っていたり、今の当時はドキュメンタリーが再現しかついているんだ」と勝手に思っていたけど、最後に見た義三さんの話を聞いて、実際見ている時に「あれがどんな状態なのか/わかるはず」と思い、想像しもしなかった。何だか悲しさを覚えた感じがした。

原爆が落ちた後の状況について軽く授業が済んだ。知っていたこともあったけれど、改めて詳しく聞いたことはなく、初めて知ったことがたくさんありました。また、この特別授業の内容はとてもしっかりと、受けとめてあげれば大丈夫だと思います。しっかりと理解ができたと思います。

人の命の尊厳が壊れていたことが、一瞬で岸に打った人の話を聞いて、どんなに悲しかったか、自分が今の立場から受けとめてあげることができなくて、生きるのは嫌だと思ってしまう。

義三さんが「ふるさとが語りだした海」でも印象に残りました。

ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話は、小中学校のころ聞いたことがありましたが、こんなに詳しく聞くのは始めてでした。お話を聞いて、今まで想像していたのと比べ、ものにならないくらい悲惨なものがたくさんありました。けれど、実際に被爆された方は、私たちが想像しているものとは比べることもできないほど辛い、悲しい、痛い思いをされたと思います。私たちが日本人は、今どれだけ恵まれ平和で、安全な暮らしをしているのだろうか改めて感じました。今、またかく兵機、単独戦争についての憲法などの話がいろいろあるけれど、どんな理由だろうと、絶対戦争はしないといけないと強く思いました。こうやって私が「日本」を考えている今、世界にはまだ「戦争をしている国」があり、戦争のせいで「命を落とされている方が」いると思うと、その表現すれば「よいか」分かりません。もうこれ以上戦争のせいで「悲しい人々」が増え「悲」になります。今までのこの悲惨な戦争、原爆を忘れないで、日本も、世界の人々もみんなが「戦争のない世界」を目指せば、本当にそれは正しく一番の平和になると思います。お話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先生のお話を通し原爆の恐ろしさを再確認することが出来ました。これから先どんなと被爆者の苦しみは減って行く中でどのように後の人々にこのことを伝えていくのか、そろそろ考えなくてはいけない時ではないでしょうか。博真では、米達が広島に行く最後の学年です。来年からは沖繩に行く予定です。広島に行く最後の学年として私達は広島で何を聞き、何を見て、何を感じ、何を考えるのか、まだ予想もつきませんが、あの悲劇を二度とくり返さないために、何か出来るのか、しっかり考えていけたらいいと思います。

貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は遠いなか、私たちのためにお話をしてくださり、

ありがとうございました。

今日のお話をきいて、自分の考えのあまさを痛感しました。「どれだけ悲惨だったのかを言葉や文では表せない」とビデオの中で義三さんが言っていたのがとても心にのこりました。やはり、実体験をした方と、していない私達では、伝えられることも、感じることも違うのだということを感じました。

原爆について、無知な部分が多くあり、今のままではいけない、もっと知らなければ"と思いました。助けを求められている被爆者の方にすくいの手をさしのべてあげることが出来ないうらさは、体験していない私には分かることは出来ませんが、池田先生のように、次の世代へと伝えていくことがとても大切な"と思いました。広島の市民の被爆率が70%、死亡率が40%という数字を聞いて、二度と原爆をきっかけはいけない"と思いました。また、それと同時に、東日本大震災での福島第一原子力発電所事故の早期解決をしなければいけない"と思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

3 / 11

なんとも言えない気持ちになりました。実際に話を聞くと、授業でなっていたことも多くなり、先生の効果音、動画、写真などでその時の状況などをとても詳しく学ぶことが出来ました。また、池田先生のお父様の話はリアルすぎて、想像するのがつかず、たてず^お、自分が被爆者だった^おということについて考えさせられました。原爆はすべてがわかるように、まるでその場のものを写し取ったように。もし自分の家族、友達がお別れも言えおに死んだら、後遺症が残り、今もなお辛い生活を送っていたら。

永遠は実際に体験をしているし、今は被災者また、その家族からリアルなお話が聞けるけれど、将来いつかはそのお話を聞ける日が来る。その時におと同じ行動を人類が起こさるよう、今永遠がしっかりと話を聞き、おを未来に伝えていかなければ、お思いました。

<印象に残った話>

- ・原子爆弾が大陽の表面温度よりも高く、地面に落ちた時は3000℃だったということ。
- ・原子爆弾の落下予定場所が、多々あったこと。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受けて思っていた以上につらく、

みんなのお話だったです。

ある程度は授業で聞いたリ、テレビで見たり

知っている所もあったけど、実体験をした人の

話を聞くと全然ちがうなと感じました。

“ゆでたまごの様”とかは本当に見た数少ない

人達にしか分からず、本だけじゃ分からないと

思う。けど私達は被爆した人達から話を

聞ける最後の希な年代であると

考えさせられ、修学はこうで向かう時は

今日、お話を聞いた内容をいしにとめ

頭に残しながら見ていきたいと思いました。

又、私たちが次の世代に戦争や原爆の

みんなさを伝えていける様になにか

行動をおこせたらなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先月、英語の戦争スピーチをした際、私は広島への原爆投下について調べていました。その時に、たくさんのリアルな写真を見て、苦しい思いをしました。ですが、今日、池田さんの特別授業を受けて、改めて原爆というものがどういったもので、被害がどれほどだったのかを知りました。タイトルだった「7000℃の少年」は原子爆弾の名前であった「リトル・ボーイ」と、太陽の表面温度よりも熱をもった原子爆弾の温度ということも理解することができました。また、日本史を学んでいた被爆者の当時の様子も想像を絶するものでした。池田さんのお父様が背中に背負って運んだ遺体が恐怖を覚えるほどの様子であり、助けられることのできた18歳ぐらいの女性の足には虫がわくほどひどかったということも聞いているだけで胸が苦しかったです。でも、今私が聞いただけで苦しさや恐怖を感じるのなら、実際に体験した方は耐えられるほどのない恐ろしさや苦痛におしつぶされていたのだろうと思います。3分の動画では米軍が落とすリトルボーイの衝撃音が伝わってきました。会社のビル前に座っていた男性は影だけになり、家が倒れ、一瞬にして広島が消え去ったのを見て驚きと隠せませんでした。人が炭化して蒸発してしまうなど考えたこともありませんでした。私の家族に戦争を経験している人はいませんが、次の世代にも伝える義務がなければならぬと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の恐さや、できごとは最近よく耳にすることが多かったので改めてくわしく聞いたことで私の体はふるえが残っています。人がいっしょんにして消えるというのはマンガやアニメなどの非現実的だと思っていました。その非現実的なことがその日そのいんかん広島、長崎で起きたと思うと背すじに寒けがします。まっとう実際見た人には言えないうものたというのが池田義三さんのビデオで伝わりました。私は話しを聞き、映像を見ただけでこんなにも胸を痛く感じ吐きそうな気持ちになりました。何十年もたつにつれて戦争という出来事じたがうすれていく世の中で今回聞いた話しを心にとめ後生に伝えていかなければ、忘れてはいけないう事だと感じました。そしてもう二度とくりかえしてほしくないうと心から思います。今回の先生のお話しを通してもう一度原爆について見直すことができ良かったと感謝しています。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私たちの学年が広島に言われる最後の学年におおしまいの
は残念に思います。体験者の方のお話しは、テレビや写真
で見ると心に残るものがあり、貴重な経験だと思います。
また、私たちが広島に行くと大切なものを得られたらいいなと思っ
ています。

今日のお話しを聞いて、原爆ドームの女生の人形を見た時
お父さんが「きれいすぎる」と言ったことが一番強く印象に
残りました。原爆が投下された時の様子は文章では表現
することができないと泣きながらお話しされたこと、月が
苦しくなりました。今の日本はこんなに平和で、幸せな
暮らしをしているけれど、昔の同じ日本でのような悲惨
な出来事があったことは想像ができません。原爆を
かけ離れたところにいる私たちは、今日のようなお話しを聞く機会
が少なくおおしまいのことを思うことが大切
だと感じました。私は小学生の頃、原爆ドームを言われました。
かなり前の記憶ですが、とても衝撃的で今でも覚えています。
高2で広島に行ったら、感じ方がまた違うと思うので、しっかりと
受けとめたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回この授業をきくまで、原爆のことを授業でしか習ったことがなく、くわしくまい
 知ることがありませんでした。日本に住んで暮らしているのに、日本に落とされた原爆の
 出来事をくわしく知らずには、とても取柄がしいたけと思ってきました。私が一番今回
 の授業で印象に残ったのは、原子爆弾が投下された後の話でした。原子爆
 弾が落ちたと同時に人間が炭になったり消えてしまったこと、原子爆弾が
 投下された後、たくさんの方が熱さにたえかねて水に入りそのまま亡くなった
 こと、皮つや肉がとけてしまったことなどとても驚きました。ほかに、想像を
 絶する話でした。また、原爆によって、原爆症という病気になった人が
 広島にはたくさんいることを学びました。

私たちが広島に行った時、今回のお話を思い出して原爆資料館や原爆ドーム
 などを見学してから、それらを見るのができたらいいなと思いました。
 今日、学んだことをこれから忘れたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が今まで原爆に対して思っていたことは、原爆が落とされたことにより、日本が降伏をしたという歴史的な面について、原爆によって多くの人の命が失われたことは、分かっていたけれど、深いところではあり、分かっていたか、と思う。

今回、原爆先生の特別授業を受講して、原爆の悲惨さを知ることが出来たと思う。この授業の中で驚いたことはいくつかある。一つは、候補地に京都府とが選ばれたことだ。しかし、京都が候補からはずされた理由を聞いて、アメリカはこの戦争に勝つことを確信していた。それでは、何故広島や長崎の大勢の人達が死んだにも悲惨な事に行われたのか、というところだ。もう一つは、池田義三さんが、原爆ドームに行き、原爆投下後の人形を模した人形を見た際に、「綺麗すぎる」とおっしゃったことだ。私は小工に原爆ドームを訪れたことがある。その際に同じ人形を見たが、今でも強く印象に残っている。その時に「綺麗すぎる」というのは、本来どれほど悲惨だか、というところだ。

戦争は人が人で行く、と思う。私達の世代は戦争を経験した方の声ばかり聞ける。だから戦争を忘れてはいけない、と思う。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことはテレビやニュースで見たり聞いたりしたことが今まで何度かありました。ですが、このお話よりも心に響いたと感じています。実際にはどの場にも聞いたかのようなお話しでした。聞いたというよりは、実際自分もどの場にも聞いたかのような気分になり、どうとすることが多くありました。知っている分、知っているつもりでも、今生きている私には、原爆の怖さが分かりません。しかし、なぜ私たちが、今生きているからこゝろ、過去に何が起きた、どうなったのか、なぜ起きたのか、どうあるべきだったのか、考えさせること、考えなければいけないものがたくさんあるのだと、改めて思いました。実際には被爆者のお話を聞いたことはなかったのですが、ビデオを見た時、体験した方にとっては忘れられないことであり、全ての人がこの悲しい思いを忘れないでいけるのだと思います。今、戦争が終わってから70年以上が過ぎ、体験した方はだんだんと減っていきます。その中で、このようなお話を聞くことがなくなる様子も減っていきますが、だからといって知らなくともいいことではないと思います。これから、戦争を知らない私たちも、聞いたことを次の世代に伝えていくことが大切だと思います。このお話を忘れないで、胸にとめてこれから生きていくようにしたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の特別授業を受講してどこかで他人事、自分には関係ないと思っていた原爆に対する考えをくつがえされた。先生の忠実なその時の再現により原爆がどれだけ悲惨かが分かった。小学生の時に裸足のゲンを流人だとしてあったが受講して途中、耳をふさいでしまうほど衝撃的な場面があり、思わず自分は逃げてしまったが、当時の人々は耳をふさいでも助けを求め声か360°から聞こえ、目をつぶさずにどこにどこにも同じ悲惨な景色、目をつぶしても意味がない状況だった。たまたま一月に私たちはワースタイトを天国に送り、今もその悲しみから立ち直れていないのに原爆で一瞬で多くの人を失った状況で約70年経った今でも悲しみ、その時の状況を忘れることができないのである。この戦争の悲惨さを語りこつていく根拠者は年々減ってきている。それと共に当時の状況を教えてもらう子供も減ることになる。だからこそ私たちが原爆先生の特別授業、それ南2で行く広島へ学ぶことを誰か原爆がどのような日だったのかを語り継いで行かなければならぬと感じた。

今日、私たちに、悲愴な原爆を教えてください(本年にも有)難う御座いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆については日本史や理科などで聞いたことがあり
ましたが、こんなにも悲惨なことがあったと特別授業
を受けて改めて分かりました。「7000℃の少年」と題した
特別授業のタイトルの意味が分かりました。
7000℃って本当に実感かわからず、全く分らない温度です。
太陽よりも熱いものか、人間に害を与えたら、
もう想像もできず悲慘で無惨な人間の姿では
なくなくなってしまふほどの原子爆弾はとて危険、危険
では全くおさまらないものです。原子爆弾を落とし
た広島にいた徴兵の人たちは、人間の骨やまるだしの
皮膚やとても残酷な怪我をした人たちを毎日のように
見ていたと考えるとつらいし、時には目をそむけて
しまふのかと思いました。昨日までは普通の生活をしてい
た広島住民の方たちがこの原子爆弾のせいで
命を落とし、苦しい痛みを抱えている、全く生活が
違くなってしまったことに原子爆弾への怒りがあり
ます。修学旅行で実際に広島をこの目で
見て、原爆の恐ろしさを自分の目で実感しようと
思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は中2の時に家族で長崎に旅行に行きました。
 その時に、長崎原爆資料館へ行き、資料や、新聞、
 写真、また、再現された人や、絵本など様々なものを
 目にしました。中2だったこともあり、それらは非常に衝撃
 的で恐怖だったことを覚えています。(また、小学生の頃に
 『はだしのゲン』を学校の図書館で読みました。その本が
 原爆を知る私のきっかけになったと思います。読み終った
 後は背中が凍る思いをしたのと同時に、人間をこの
 ようにしてしまう原子爆弾はとて怖ろしいと思^ひい^た。
 実際^にこのような状態になったことは信じられませんし、
 想像もできません。) 今回お話をきいて、やはり恐怖
 は変わりません。そして、改めて、アメリカの気持ち・心情は
 どのようなものだったのか、というところが疑問に残りました。
 もちろん被爆者の方々の実体験とは比べられない
 とは思いますが、残酷^{さくご}が^あっ^てはならないことだと
 思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島、長崎に原爆が落とされた時のお話は、
授業でも、いくつかの公演でも、聞いたことはありました。
その話は、聞くたびに、「悲惨だな」「あつはならないことだな」
と思っていました。

今回の原爆先生のお話では、今更に分かった。
原爆の破れかたや、原爆が落とされた直後の
広島長崎の悲惨さ、そしてその日から数日経過してもなお
復興の望みのない灰色の街。そういった、深い所まで
知ることで分かった。原爆が投下され、人が
どのように亡くなったかは、これも残酷で、正直、
目を覆いたくありません。しかし、この原爆で起きた
事は、今生きる日本人として知っておかなければ
ならない事だと思っています。今日の授業で学んだ事を
おぼえ、実際に現地へ行き、真剣に原爆について
もっと学ぼうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今までに、様々な授業の時に“原子爆弾”や、“原子爆弾投下”について調べたことがあ、たから、原爆について多少の理解はあると思、っていたが、今日の池田先生のお話を聞いて、自分の知っていたことの少なさを実感した。1945年8月6日午前8時15分に広島に原爆が投下され、その被爆者の方々の様子を分かってはいたが、実際の様子が自分の想像をよるかに上まわっていて、本当におどろいた。その悲惨なことを体験してはない私が、いくら実際に体験した人々のお話を聞いても、やはり被爆者の方々の苦しみや涙の全てを理解するのは、難しいことだと思、た。でも、ネットからは得られない重要な貴重な話を今日聞くことができて、本当によかったと思、う。高2の修学旅行で広島に行けるのは、私たちが最後だから、来年度広島に行、たら、今日伝えて下さ、たことを思、い出しなから、資料館を尋ねた”と思、う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

小学校などでも、原爆の被害情報は、大まかとした内容は教わるが、今回の先生の授業を聞き、より具体的な体験などを聞くことができました。人がどんな被害にあったか、なぜ広島と長崎に落とされたか、どのようにして原子爆弾をおとしたかなど、今自分が聞いたこともなかった実際のことを聞き、より詳しく学ぶことができました。本当に体験をされた方の話を聞くことのできる機会はあまりなくなってしまうが、今の私たちがしっかりと歴史を知り、今後戦争を知らない若い人に伝えるてはならないということを実感することができました。平和のためにどうすればいいかなど、様々な場面でよく聞かれましたが、戦争の恐怖というものは、実際に体験した人しか分からないと私は思いました。それでも、その誤りをくり返さないために、その方達には伝える義務があるのではないかと思います。戦争を体験した方にもっと色々な話をきかせてもらいたいと思いました。またいつ起こるか、わかりない戦争を防ぐために、もっと様々な国の人や世代に、日本の広島と長崎で起きたことを知ってほしいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島の前爆のことは、今学期、日本史、英語などの授業で
ふれていました。しかし、くわしくは説明されなかった
ので、今回お話を聞いて、とても詳しく教わりました。

原子爆弾は、想像をはるかに上回る恐怖だったと、
改めて知りました。途中の映像を見たとき、みんなに
大きな原爆が上から落ちてきたらどんなに怖いか。
見てるだけで恐怖でした。実際にその場に居た人たちは、
怖かったんじゃないかと思えます。

私は今回の話を聞くと、広島の前爆が、そこまで
ひどいとは、想像もしていませんでした。なので、映像
先生の話聞いた時には、とても驚きました。

私たちは、残念ながら被害にあつた人たちの気持ちを
完全に理解するのは難しいと思います。しかし、今回の話を
聞いて、これからの生活を一日一日大切に生きてい
けたらと思います。また、修学旅行も心の準備
をお話を聞けたらと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生のお話を聞いて、改めて、戦争や原爆の恐ろしさに気がつくことができました。

7000℃の少年という題でどのような話をするのか7000℃。とどけくらいか検討も

つきませんでした。どけほどの恐怖だったのかも体験をしていないので分かりませんでした。

しかし、原爆先生のお話を聞いていく内に自然と、その当時の様子などを想像し

もし、被爆地だったら、自分がどうなっていたのか、というのを考えていました。

本当に考えるだけでゾク、とあるような、感じていました。

原爆投下までにはたくさんエピソードがあることを知りました。原爆を落とす場所

がもしいたら横浜だったかもしないことを聞き、そして、今でも近くにたくさん

苦しんでいる人がいたのかなと思うと、じわじわと締めつけられました。

そして、原爆によって亡くなった人の内、2万人の人は一瞬にして跡形もなく、

爆風によって亡くなったという事実を聞き、原爆の本当の恐ろしさを知りました。

太陽よりも熱いものなんて全く想像できなかったけれど、原爆先生のお話を聞き、

今まで知らなかったことなどを知らることができました。兵器はあってはならない

ものだと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について詳しく学んだのは、今回が初めてかもしれない。1945年8月に原子爆弾が広島/長崎に落下し...と大まかなことは知っていたと気がさせました。どうして広島と長崎に原爆が落ちたのか、その時の背景、実際は経馬乗りの想いなど、先生のことを今回教わりました。

印象に残ったのは、爆弾が落下した時の様子のビデオです。いつものように毎日、何気なく暮らして働いて、そんな日常の中に一つの爆弾が落ちて、人生が終わったり、忘れ去りたい過去にふたり。原爆の恐ろしさを痛感しました。何故、このように開くこと、たった一つの大切な命が奪われるわけがわからないのか、と疑問に感じ、また悲しい気持ちになりました。毎日「飯を食べる学校に行く」と当たり前のように毎日過ごしているけれど、毎日大切に生きなければいけないと思いました。

そして、原子爆弾の恐ろしさを一生忘れずには、これから先も生きていこうと思いました。そして、2度と悲惨な出来事が起きないことを祈ります。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、池田 さんの話を聞いて、本当に、原爆が恐ろしいものということに改めて感じました。正直 最初は、なに「テスト最終日に……。と思っていたので」ですが、池田 さんのとてしなく話話を聞か、その話の中で身をこけたことが、内容のものが多くて、池田 さんのお父さんの実体験は本当に怖いと思ひ、二つおもしろく、なにかおもしろい話に、それを話してくれるということにと感謝しています。そして、なに「テスト最終日に……。とか思っていた自分」がとてしなく話話になり、池田 さんは、なに「おもしろい話に、その話をき、たせつなチャンスはなに？ 何に……。自分最低で……。と反省しています。

3分間のビデオも、普通の生活をおこなっている人々が「急におさまらば」で「一瞬」きえてほう、光にまみれきえてほう、という内容だったのですが、本当にみてこわかったです。

なにか「たたり、うしろがわ」とか「くさしたに……。聞いていてみる」といふことが「すげえ」です。……

池田 さんのお父さんが身けた女性が生きのこっていたことに、おもしろい話でした。

そして、この話を聞いて、戦争かげんばとか絶対に……。おこしては……。いけて……。い……。改めて実感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、お話を聞き 終始鳥肌が止まりませんでした。同じ日本に住んでいた人々の体験談を他人事の用にとらえていた部分
が自分にあつたのだと感じました。日本史の時間に少し
先生に教えてもらったぐらいで全く知らないことだらけでした。
広島、長崎以外で横浜が投下されようになつたことは教え
てもらったことがありますが京都が1番推されていたこ
とに驚きました。また、太陽の表面温度よりも高い7000℃
が、日本の上空にあつたことを知り恐怖を感じました。人
が一瞬で何も残さずなくなるということが3次元空間か
ではなく現実には起つたのにも恐怖を感じました。
アメリカの奴らは原爆を投下したのは仕方が悪いこと
だといっていますが、それはまるで人がなくなったことは
多くの人がなくなったのは仕方が悪いことだと言わね
る前に前から感じていました。今日の話聞いて、仕方が悪い
ことという言葉で片付けられるものではないと強く思いま
したが、一番大事なのは被爆者の気持ちだと思ひます。
年々、被爆者や体験された方がこの世を旅ひなつていま
す。私はその被爆者の気持ちと理解し、後世に
伝えていくことが大事であり、当然のことだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

Talk about many 広島's history, and also
let us think about the questions of science,
like, 原子爆弾の威力 or what's degree of the
sun, we will not understand this kind of
question for our study book,

Let us more understand many think and
広島's history, We will have more fun and
more wisdom in May 広島旅行。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を聞いて、原子爆弾の重さが4吨もあると知った時は本当に驚きました。4吨の重さもある爆弾はどれほどの威力かは想像も尽きませんでした、太陽より1000度高い熱さは想像するだけで、身がふるえるぐらいの恐しさを感じました。ビデオに映った、ある男性は原子爆弾が落ちた一瞬で黒い灰のようになり、姿を消え、ただただの影しかのこらない場面は一生忘れません。原爆の力は強い、もう二度とこのようなことが起きないように私たちは意識しなければいけません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

世界史や日本史の授業で断片的に広島・長崎に原子爆弾が
落とされたという事実しか知らなくて、小倉や京都 北七河や横浜が
原子爆弾の投下地の候補に入っていたと初めて知った。

上空600mの位置に中心外100万度、外周でも7000℃と、太陽の温度の
高いものを発生させようという思考が恐ろしいなと思った。

現代文の授業で取り扱った黒い雨でも人々が川に身を投げた
というような表現があたりけと、川を埋めつくすほどで、さらに川の水が
熱線におて蒸発していたと言われて、想像だけでは到底に状況が
悲惨だった。市民のほぼ5人に2人が原子爆弾におて亡くなった
と聞いて、今自分の立場に置き換えて考えると想像もつかなかった。

恐らく、自分が修学旅行に行つて、原爆資料館を見ただけでも

これは過去に実際に起こったものかと思ひ疑うであろうに、実際は
それ以上の事が現実におこっていたはずと信じ難いと思った。

原爆雲の原理がどうなるか上昇気流から成ると

初めて知った。たった一つが約14万人以上もの人の命を奪つて

ほう、原子爆弾は、落とすはわかるが、造り出してはいいけないのだな
と新めて思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、実際の体験されたお話と、原子爆弾のつくりであったり、を同時に
 つかかったことで、人を殺すため、都市を破壊するための技術を上げるこ
 とは、悲しく、不必要なものはないと、思いました。今年、日本史の授業で、
 太平洋戦争を学ぶ、原子爆弾投下についても学び、その日も、あんなに残酷
 だと感じたのですが、今回のお話を聞き、自分が思っているより、自分では
 想像できなかった出来事だったのだと、改めて思いました。池田義三
 さんが、原爆資料館に訪問した際の、「人々にキレてほしい」という
 言葉が、とても心に残っています。皆が見物に来る所だから、やはり、
 あまりにも生々しいものは、見せることが出来ないことなもしれないですが、
 今回のように、直接体験した人や、それを直接聞いた方のお話を聞く
 ことができたのは、来年広島を訪ねる自分として、また一人の日本人として、
 とても良い経験になったと感じています。

また、原爆はあんな綿密に計算されて落とされた事に驚きました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分が思っていた以上でおどろきました。とこれだけ原爆で被害を受けた人が辛かったのがあるため最後の動画まで気がおさませられませんでした。

原爆^正落とす候^正午前についた都市の中は横浜が入っていたことも初めて知りました。京都が最もおどろいていたことを聞き、でも、力加算(おどろかされた)理由を知り、いろいろなことを覚えました。原爆の力加算(おどろかされた)です。家も、何もかも一瞬にして消え去るから。池田さんのように運良く生き残っていた人もとても辛かったと思います。生きていくけど人間には思えない"という表現を聞き想像はしましたが、それだけでもとても辛くなりました。目の前でおどろかされている人を助けた池田さんの気持ちに想像がうきまわります。助けを求めいる人がいるのにどうすることもできない。この一番辛いことだと思います。私は今日の授業を聞き、とても心打たれました。でも世界には原爆がどれほど禍^{わざはひ}にまでおどろかされたか想像を絶するほどの事というのは伝わっていない気がします。今も北朝鮮が核を所自しているけれど米が爆弾を落とすかどうかわからないニュースを見ます。今まで知らなかったら正直、北朝鮮みたいな国は一度思ったらいいとかそんな甘いことを思ったことがあります。これは違います。関係のない人も苦しい。永遠に続いてしまう思いからです。被爆者の人達がそれだけ辛かったのか、世界にもっと知ってもらいたい。だから、平和な世界がほしいことを望みました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受講し、宇野の広島に何かあったか、
 い経験者の方の気持ちも考えることができました。原爆は他の日本の
 京都、小倉などにも落とす可能性もあり、不憐れ、元の県の特徴といった
 理由だけで、苦しみを抱えている層が違ふことを考えると、原爆は身近
 にあるものだと感じました。自分の事が一杯に打つては、その分心も
 体もぼろぼろになるけれど、この様な時に、出展の人を見、何もできない様
 々な体で思い、思うこともたはると考えました。火傷をおた、洋服がた
 いたという事は、知っている原爆がどのようにして、落とすたかという事は、
 知っているつもりでしたが、太陽よりも熱い温度で重工業の桁が全
 違っていて、^驚驚かす。木が瞬間に燃え尽きたというお話しと写真を
 見聞して、いかに原爆というものが恐ろしいものだったか、そして、最後
 までの体験を人に伝えることの出来る人が、いかに今の私達にも必要
 なのか、私達が考えなければいけないことを強く感じました。今の私に
 あの時々の状況の思いを完全に伝わりきるということはどうも思わなくて、
 日本には、この様な悲惨なことがあったのだ、もし自分が助けたら、
 手がたたくて、助けることができたなら、そして周りには助け
 てもらえない人がいるが、宇野はどうなることもできないというこ
 に出展したらという事を考え、原爆というものを考えることができた
 らと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日、原爆について詳しいお話を聞くことができ、貴重な体験をすることができました。

私達は1945年8月6日に広島、9日に長崎に原子爆弾を落とされたことを知識としてのみ知っていました。しかし、原子爆弾という言葉は知っていても重さや大きさ、どうして広島や長崎に落としたのかなど深いことはなにも、全く知りませんでした。

私が得に印象に残った話はもともと投下する都市の候補が6つもあったことでした。京都が最も原爆を落とすのに適していたというのも驚きました。

原子爆弾の表面が太陽にも匹敵する熱さであったことを聞いたとき全身が震えました。そんなものを当時の方々が目にしたと思うとぞっとしました。その人がいた型だけが残るなど怖い。以上にどう表してよいかわかりません。

原爆による後遺症。おもに放射線物質がもたらす害はじわじわとあたり大きなものであった。その怖さをしっかりと知っておかなければならないものであると思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回話を聞いて、広島原爆の事は授業で聞いたり、小学生の頃には被爆者本人の話を聞く機会もあり、知識としては色々知っていたのですが、当時の兵隊の方の話を聞くのは初めてだったので、今回の話を聞いても新たに知ったことがありました。

まず原子爆弾が落ちてすぐに現地向けられた事にとっても驚きました。そして、その場に行くこと自体とても怖い事であるのに現地向け、逃げ出さずに自分のすべき事を冷静に判断して、たことが凄く思いました。

私が小学生の頃話を聞いて下さった語り手の方は女性の方だったのですが、その方も自分はたまたま助かったのだとおっしゃっていました。きっと原爆が落とされたとき助かった方はみんなたまたまの偶然が重なったのだらうなと思いました。

そして私が今回話を聞いて一番驚いたのは、原爆資料館で飾られていた再現の人形を見たお父様が「きれいすぎる」とおっしゃったことです。実際に体験していた私たちはそのような場所を見た物を事実として見ています。しかし、現実はおとんど、という事をいり、しょうがきを受けました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

3/11

今回、お話を聞くまでは原爆が第二次世界大戦中に広島と長崎に落とされたということなどは知っていましたが、それ以上の特別な知識はありませんでした。学校の授業で平和について学ぶとよに「黒い雨」という本を読んだり、他の先生のお話を聞いて、私は原爆の恐ろしさや威力を分かったつもりでした。ですが、本日特別に池田先生のお話を聞いて、自分は上辺でしか見ていなかったんだ、と感じ、あくまでも「過去の出来事だ」と自分と関連付けずにいたのだ、ということを感じました。原爆が落とされた地域のみを取り上げても、何故広島と長崎に落とされたのかということすら理解していませんでした。私が今回のお話で特に印象に残ったのは、何日にも及んだ「遺体の収集作業です。3000℃という私には想像できない程の熱線を受けて、たぐりかきくたり水辺で亡くなっていた人が多かったということを知りました。一瞬にして熱湯と化してはた川に飛び込んだのであろう沢山の人が、川までもとどろりつた、近くにあつた消火用の水槽に入った人々のことを考えると、どの程苦しかったのかを伝えています。今回、とても貴重なお話を聞いたことを本当に感謝しています。今も沢山の問題が残る世界ですが、少しでも平和に近付くように、私にできることだけでも力をつけて、一つ一つを大切に取組みたいと思います。本日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

私は戦争に対する知識がとても浅かった。爆撃機の名前も、長崎や広島に原爆が落とされた理由も、横浜が原爆投下の候補地になっていたのは知っていたが、小倉、新潟、京都のことは知らなかった。今では、日本国民として絶対に知っておかななくてはならないことを、知らずとせむに生きてきた16年間をケル、恥づかしいと思えた。なにより私が驚いたのは、当時は長崎ではなく小倉に投下されるはずだったということだ。原子爆弾投下都市の条件は、私が想像していた条件とは大きく違っていた。私は最初、広島ドームのように目印となる大きな建物がある都市で、かつ、人口密度が高い町、かならず道路が小さい町をねらっていると思っていた。そのため、アメリカが考える原爆投下の条件をきいて、とてもびっくりした。

また、原子爆弾の大きさ、重さにとてもおどろいた。実際広島に投下された「リトルボーイ」は、3.2mの約270kgの大きさだが、想像をはるかにこえた大きさで、投下するのにかかる理由も理解できた。

戦争とは、20世紀におこったもので私たちは経験していない。しかし、経験していないから知らない、ということでは済まされない問題なのだと思ふ。経験していないから、身体への痛み、友人や家族を亡くす辛さ、全てを失うという損失などを一緒に分かち合ふのは無理かもしれない。しかし、それでも「戦争」という世界の悲劇を知ること、これからの意識が変わるのではないだろうか。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は本当にとてつもない威力で表面温度7000℃で太陽よりも熱く鉄の融点を超えるすべてをとかしてしまふと聞き強さといっても具体的な数値で原子爆弾のことを学べたと感じました。キノコ雲が上の方は平らになっている訳は大気圏に近くて層ができてると分かりました。義三さんの経験は本当に悲惨で耳を塞いでしまいたいような情景描写がありとても生々しく私の耳に届きました。トンネルの中において運良く助かる人もいれば、投下と同時に熱で炭の塊になってほう人も何一りしてとても生々しかったです。忘れたいと思います。なぜアメリカはこんなに危ないものを威力のあるものを落としたのかと思ったことはないので考えてしまいました。そして、20年以上も放射能の原爆痛に悩まされるという苦しみも重りしれないと思う被爆の経験をこんなに聞くことは今までになかったのですとても貴重なものになりました。原爆ドームは屋根が壊れ、原形をとりかたなくてそれを見た後に広島県産業奨励館を見ると本当に立派な建物だと思いましたし衝撃的でした。今日受講したこの原爆先生のしてくださった講演会を心に留め、修学旅行に行きたいと心から思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

1

17歳という若さで兵隊として活躍していた自分の1年後の年ですが、
とても立派だなと思ったし、私には到底理解できなような若し
い思いが強い思いを経験なさっているおじりきました。

原爆投下の動画をみて数秒前まであった当たり前の日常や
出来事が原爆というものによって壊されてしまて色が無くなり
本当に苦しい気持ちになりました。川に沢山の人が流れ込んだ
という話を聞いて、もっと熱くて苦しかったのだと思うました。
たった一つの武器で街や人のだけでなく心にも深くの傷や
悲しみを背おあせてしまて本当に辛い出来事だったなと感
じました。義三さんの生の声を聞いて、戦争や原爆そのや
日本人が味あった、つらく、悲しい出来事は何らかの形で後世
に伝えるべきだと今日強く感じさせられました。

義三さんのもし、届いた手紙が助けた少女だと分かった時
本当に感動しました。もし自分が誰かを助けたとしてその人
が今でも強く生きていると知ったら、それ以上の喜びはないと
思います。今日の先生のお話を通して命の大切さや日常のありが
たさを強く感じる事ができました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島^市にお度行かれた事がありました。その時に
見た、あのお母さんと娘が歩いている場面を再現したものがとても
頭から離れませんでした。しかし、今日の授業で義三さんがそれを見
た時、きれいすぎるとおっしゃられたという事を知り驚き、悲しく
なりました。あれできれいすぎるの？と思いました。今回お話を
聞いて、本当の話なんだと実感がわきました。奇せき的に義三
さんが生き残り広島で救援をしたこと、私には想像がつかない
程に、残酷だったんだと戦争で人が人じゃなくなる程の力を
持っていて、人間がそのようなものを作ったこと。本当に平和であ
ってほしいと思います。その為にも、このように戦争について深く知り、
後世に伝えていかなくてはいけないのだと思います。世界にも、
まだ戦争をしている人々がいる事も事実です。戦争がなくなった
世界にするためには、と考えると考える程、難しいです。しかし、
今私に唯一出来る事は、戦争について知る事だと思っています。
私たちの世代で被爆者からのお話を聞ける機会が減ってしま
うのをニュースで拝見しました。修学旅行で広島に
行った際は、しっかり被爆者の方のお話を聞こうと思っ
ています。今日は、私に貴重な経験を与えて下さりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私がもしも広島や長崎で起きた原爆の被害者
だったらどうだったんだろう。今日の話聞いてそれを
考えました。正直私にとって戦争は昔の時代の話で、
自分が関わることのないものだと思っている。

戦争がどれほど悲しいもので、どれほどの人の命を
落としたかは分かっていても、それを自分に結び付ける
ことができなかった。しかし、今日のお話を聞いて、
こんなにも胸が痛くなって、その風情を思い浮かべる
だけで鳥肌が立ったのは初めてだったと思う。

原爆はこの先絶対に起きてはいけないことだし、
もしこれが、自分の国を守るためにやったものだとし
ても、許されることではないと思う。

私が今できることそんなに大きなことではないけれど
もっと昔の人のことを知って、自分の頭で考えて、
自分の心で感じて、それを色々な人に伝えていく
ことが、私にできる一番の方法だと思う。

高2で行く修学旅行では、直接現地に行って
当時の人の思いや原爆の苦しさを生で感じて
いきたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はどうおこったのか、何の出来事なのか私は知っているつもりだった。実際お話を聞いてアメリカ側はどうか、広島と長崎に原爆を落とすと決めたのか、又、どんな爆弾がおちてきたのかものすごい沢山のことを知ることができた。今までの私の原爆について知っていた知識の何十倍、何百倍も知らないことばかりあった。日本史の授業で今学期習ったため、裸足のケンという作品を参考に見ていた。まんがは「ほろ」で自分分かりやすく状況が描写されていて、皮膚が焼きたたけで、少しはれるだけでものすごい激痛がはしるという部分は知っていた。だが、実際どうして皮膚がたたくてはるのかはしるはなかった。この広島、長崎に落とされた原子爆弾は、中心 100万℃、表面 7000℃、600m 離れた地上でも 3000℃。これを見た時、ものすごい驚きと恐怖を感じた。3000℃だと、あまり実感がわかないけれど、金鉄の融点か 1500℃と言っていて、人間がやけどするとかそういう問題ではないと思った。やけどでけすだけ。人間が焼くだけ、骨も残らず黒い炭のかたまりなど見たことも聞いたこともなかった。又、一晩にして命を落としてしまう人もいれば、生き残っているか、全身やけどを負い、激痛におそわれている人もいる。この激痛は氷から先二度とない苦しみや、痛みだと思っ。私は想像しただけでおそろしく、ものすごい激しいと肌かた。この出来事は一生遠くまで覚えておきたいことであると私は感じました。

以上のことから、私は絶対にこの辛いことをくり返してはいけないと強く感じました。実際に体験をしたわけではないけれど、この先伝えていくべきだと思っ。今の私でも当時をいたわけではないが、この出来事は当然のごとく知っている。それは、大人たちに言われて育ってきたからである。そういうことより、もっと若い世代や小さい子供にも悲惨な出来事であるが

伝えるべきだと思っ。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を聞いて、改めて戦争の恐ろしさを痛感しました。

原爆投下後の様子は、写真では見たことがありましたが、実際に体験された方の話をうかがうのはあまりない機会でした。とても貴重な話をうかがえました。被爆した方々が兵隊さんに助けを求めていると聞いて、やけどで負った痛みにも必死でたえていた人々のことを思うと、とても辛く感じました。また、皮膚がはがれ落ちたり、全身がやけどのせいと真赤になった人がいたと聞き、非常に驚きました。動画では、普段通りの生活を送っている方々が写されていました。しかし、原爆が落ちると一瞬にして人が消えていく様子が写されていました。原爆の可怕な恐ろしさを知りました。

いつ原爆が落とされるのか分からないまま、日々を過しているのだと思います。毎日恐怖でおびえているのだと思います。本当に辛い現状だと思っています。私達より小さい子供たちまでもが、被爆したのだと思うととても辛いです。私達はこのような機会を与えていただいて、お話をうかがうことができました。そして、戦争の恐ろしさを知りました。しかし、何年か経てば、被爆された方の話を直接聞くことはできなくなります。そのため、私達が、次の世代へ伝えていくべきだと思っています。二度とこのような悲惨なことは起きないでほしいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、いつどこ、といったことは学んでいたが、今日初めて被害をうけた人のリアルな話を聞き、自分は本当に無知であったことに気が付かされた。アメリカ人からしたら、原爆が下れば、戦争は終わることか下かった、という意見に100%否定できるはずは、今の私(教科書でしか戦争を学ぶことが下い)には下い、今日の講演を聞き、広島・長崎は確実に原爆の被災地であるという認識が生まれた。原爆の映像は本当に悲惨なものであったが、本当にイメージあることも下い。もし自分の都市に原爆がおちたらどう下る?と考えることも下い。しかし、このような事態を招く戦争は、本当に恐ろしい。前まで、戦争は恐ろしいか? はい。それは分かっていたが、原爆について学び、下せ"恐ろしいのかを自分で学ぶ"ことで、下から繰り返してはいけ下いんだと気が付くことが下いた。過去は過去、今は今、という言葉は今を生きる、下には戦争を経験したことの下い人からすれば、前向きな言葉のように感じ下るか、私下は過去があるから今生きているということも、下れてはいけ下いと思った。こうした経験を、学べたこと、講演して下さい。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

この戦争のお話を聞く機会というのはいまじんと少く
 減っていくと思う。実際自らも修学旅行で広島を訪れ
 るのが最後というところから今日は真剣に話を聞きました。
 私は話を聞いても本当の苦しみや痛み、そして想像を
 絶する光景は目に浮かぶ感じがするとも出来ません。
 だから私も時々の戦争のお話を聞くと言語して工の
 いる方の意図や伝えたいことがあれば私から聞こうと
 話を聞いても理解することは難しいと感じます。毎回
 申し訳なく思います。そして、このような出来事は74年
 前にあつたことは信じることが出来ません。人間
 の無残は凄まじいにも痛ましい表現であつた。そのように
 事であつたかと思うと驚きそして恐怖を感じました。
 同時にこのように戦争はいつでもいつ起きるか分からな
 い状況にあると思ひます。
 私はこの話を聞いて思うことは「戦争はしては行かない
 と強く反対している意志を持っていて」と強く思ひました。
 これは悲しい出来事はくり返しては行けません。か、と
 言うようにしては行かない。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

今日、お話を聞いて、新しく知った事が決まりました。
 今までにも原爆の事は、学校の授業で習ったし、色々な方
 からお話を聞いていたけれど、本当に凄まじい事だという
 事は分かってはいたのですが、今まで具体的に細かく聞いたのは
 初めてでした。映像では分かりずい、温度や臭いや音、等
 しいや、お話を聞いても本当に全然私達には想像もつかない
 ような物なんだという感じでした。私は、言葉で伝わる範囲
 でもって恐怖感を感じました。火傷で皮膚が焼けて落ちた
 のだと、想像もできなかったような痛みだと思いました。
 話を聞いたときに、これもおそろしいと恐怖の連続でした。
 爆弾の表面が7000度と聞いた時、これもおそろしいです。
 私が想像していたよりもさらに温度が高かたです。
 100度でも普通に火傷するくらいなのに、7000度
 だと、意味がわかりませんでした。これが特に印象に残った
 お話です。しかし、聞いた事全てに一つ一つ本当におそろ
 しいです。今回の話を聞いて、これがおそろしい事だと思ったり
 する。この話を聞いて、これがおそろしい事だと思ったり
 する。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について小学生の時に「はだしのゲン」というマンガが図書館にあり、読んでいたので知っていた気になっていました。しかし、今日原爆先生の話を聞いて、自分がはがかしくなりました。原爆については多くの人が死んでしまっただけで出来事として思い込めておらず、深くは知りませんでした。今日教えてもらったことで一番印象がよかったのは被爆者たちの無残な死に方です。急に空から降ってきた一つの爆弾で、普段の生活がごとごとく破壊されるのはどれほど悔しく、悲しく、辛いことだろうと考え、思わず手をにぎり祈りました。人を一瞬で炭とし、あつさを爆風でばらばらにする原爆のおそろしさに体がふるえました。原爆先生がおっしゃっていったレインガに隠れていた人が闇のあたりには風景を想像してとても心が痛いのです。手を握っていた母と子の愛しい風景が一瞬の光のうちにそこには母と子はおらず、ただのぼろ白煙と地獄に変わったような風景があつたり一面に広がる。夢に出てきそうでした。私は今日の話を聞いて、高2の修学旅行の時に、ちゃんと原爆のつゆ跡を見れるかどうか本当に不安です。しかし過去にたがいがあつたか、これかゝ私はなにかかできるのか考えようとしてしっかりと心にとめていきたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

遺言をお話の聞けたことには感謝しています。

私は日本人として広島、長崎の原爆の話を知りたいと
思っています。しかしこれと同時に自分がこのことについて伝えることが
出来るかという点、そこはわかりません。正直全く知らない経験のない
時代のことで、人に伝えるという点で知識もありません。

でも、今の時代には生きた話を聞くための立場として、二度と
同じことを繰り返さないように、考えることはあります。

原爆投下があったから戦争が終わったと思ってしまう方もいらっしゃる
と思います。それは感じることがあるのも、反対に、間違っている
と感じる方もいるのも、私はわかりません。私にはわかりません。私には
わかりません。想像することがないこと、もちろん投下されたことは正しいこととは
思いませんが、普通のことではない限り正解ではないことは思うています。

投下されたのがアメリカで、投下されたのが日本であったことは、それも、
人々を傷つけ、たくさんの人々が殺され、殺されたという点から
見て、あつては正しいことだった。その中で世界で最も悲惨な原爆
投下という出来事が私の住む国で起こってしまった。それは、
このことは、それを二度と繰り返さないようにすること、今生きている私に
どのような意味を持つ、大志は課題だと、今回のお話を聞いて
強く思い直すことが出来ると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、美体験をした方のお話から、落とされた原爆の具体的な重さや、どのようにして落とされたかまで、原爆について色々な面からお話を聞いて、私は今まで「原爆の本当の悲惨さから目をそむけて原爆のことについて知っているような気持ちになっていたんだ」と感じました。

あれだけの熱線や爆風によって亡くなった方が本当に沢山いるのも悲惨な被害の一つですが、生き残った方々もまた、心に深い傷を負っているのだと感じます。そういう方々からお話を聞く時、私は少しだけでも同じ目線に立って聞くことができればいいと思いました。先生のお父様もおっしゃっていたように、美体験もされてきた方は、原爆資料館では比喩ものにならないくらい、原爆の悲惨さや、被爆された方々の苦しむ様子も見てきたのだと思います。だから私も、その原爆があれだけのつらい被害をもたらしたのか、少しずつでも目をそむけずに、向き合っていかなければならないのだと思います。今日のお話で、原爆も落とされた広島、長崎の様子はもちろん、戦争、原爆に向きあってみようと思う気持ちが強くなった気がしました。

修学旅行に行った時には現地で感じられる多くのことを学びたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いて原爆がどれだけ悲惨
であったかを改めて理解できました。しかし、話で
聞いた私が考える原爆よりも実際は何倍も凄いのかが
起きていたのだと思います。

目の前で人が助けると言っているのに村に助けていのに
助けられず、とてつらいと思います。私が兵隊士と
同じ立場で苦しんで来た気がします。

また、アメリカはこれを考えて原爆を落とすの目的は
思いました。一番影響が分りやすい土地を探し、
ラジオソングとエラ・ゲイを作り正確に落とす事、また
写真にも残す事などがびっくりしました。

広島での原爆の子被害は死亡率が40%というの
には本当にびっくりしました。ほぼ半分という悲しい事実に
思いがけず泣いてしまいました。

私は、平成に生まれ戦争にはまだ實際体験し
たことがありませんが絶対に二度とくり返しては
いけないと思います。しかし、まだ世界では絶えず戦争
が起きている。これから私たちが平和と戦争についてど
う考えていくのかが重要だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学校5年生の時に家族旅行で広島へ行き、
 原爆ドーム、原爆資料館に行きました。そこで、8時
 16分に止まっている時計やお弁当箱、被災者の
 モチーフにした人形を見て心が痛くなり、もう見たくないと
 思ったのを覚えています。また、日本史や現代文の授業で教えて
 もらっていて大体知っていると思っていたのに知らなかったことが
 多くてびっくりしました。当時、今の私たちと同じくらいの人を
 軍団として入隊していたことは私には考えられなかったです。
 原爆投下には条件があってアメリカ軍も十分に考えず広島や
 長崎に投下したんだと思います。候補に横浜がある
 ことがわかった時にびっくりしたと思います。その代わりに広島が
 選ばれたのは大変なことだったと思うと戦争は怖いと思います。
 太陽の温度は6000℃、原爆の表面がそれより99倍
 7000℃、中心が100万℃。いつも使っているスチールパイプが
 160℃で溶けると聞いたので7000℃だとそれくらい熱い想像
 ができません。鉄も溶けてしまうんだとすごく熱いと思います。
 また、一瞬で前にいた人が消えるのは想像しただけで
 恐ろしいです。今日のお話の中で一番心に残ったのは、
 資料館で「きれいさ」という言葉です。それ以外、



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで様々な所で原爆のお話を聞いたし、本を読んだりしてはあったのですが、今まで詳しく、深くこれ自分自身が考えさせられたのは初めてでした。同じ描写をいっても、今まで自分が見取った内容とちがって、1つの話に様々な見方をもたせ、自分自身に重くの考えたり、よりその場面が想像しやすかったです。

原爆のつくりや投下までの経緯、影響、結果。最後に池田義三さんが本人の映像にもありましたが、档の原爆、本当の戦争など、私たちがもう見るべきではない本当がある。その本当は想像とか、どう考えも補えないものだから、原爆の資料館に行ったり今日お聞きた内容とあわせてながら、そして、本当を思ったながら、私は戦争というワードが怖く、イメージをもってしまう。ちゃんと資料をみようと思いました。

今日お聞きたお話の中での印象に残っているのは全くなさ。全体的印象的に衝撃的だったのですが、中にも、一瞬の間に人生が変わってしまう、ということが改めて強く思いました。トラックの到着が遅れたから第二部隊の方たちやトラックに乗った方は助かった。投下時にたまたまコックピットの建物の地下にいたから助かった。たまたま通りかかると軍に気づいてもらって助かった。天候が悪かったから投下できなかった。逆に「えい」投下された。上手くいかなから投下できなかった。別の所が投下された。という一瞬で全てが変わってしまうのはとても怖く感じました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆についての話を聞いて、知っていたようで、しっかりと分かっているか。の部分まで理解することができました。お話の中には自分が思っていたよりも悲惨で衝撃的な内容が含まれていて、原爆の恐ろしさを改めて感じ、原爆について考えさせられました。原爆はなるべく大きな被害が起るだろうと予想された地に落され、さきさきの点から原爆地を選んでいたとか、よく考える恐い話だっと思われました。京都が原爆投下地の候補に選ばれていたことは知られていました。

被爆者は、広島の場合、人口の70%にも及ぶことを聞いたときは鳥肌が立ちました。外には原爆に直接あつた人は「一瞬で消えた」という表現をされたことと人ごみで恐く、想像を超えるものだったと思われました。

今回、お話を聞き、原爆について考える機会ができてよかったです。お話を聞くことができたことに感謝し、伝えたいことがあればいっしょに話したいと思われました。また、二度と同じことは起さないようにしたいし、被害を減らしたいと感じました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

小学生の頃から、歴史の授業などで、学んできて、本当に
 恐いことだと、次々思っていました。そして高1になると、日本史
 の授業でくわしく学んで、バシバシ強く感じるものがありました。
 横浜市民として横浜が候補に上がっているというのと知り、何か
 表現が正しいとどうもバシバシおもう何かを感じました。これが広島、長崎
 民の人々の気持ちなのだと改めて思いました。年齢が上がると学び
 内容が濃くなるので、私が感じる何かをもっと複雑なものへと行って
 きました。アメリカに対して嫌な気持ちを持つていませんでした。でも今回色々
 お話しをうかがって、なぜか、アメリカが悪いという考えが生まれ、特に、原爆を
 落とすか、落とさないかの決断をした人には、少しのうらみを感じて
 しまいました。でも、裏返せば、日本もおそろしいことをしたのだと気づきました。
 このような恐ろしい戦争を止めるとは、平和を維持するのは、おバカの国が
 相手国のことを考え、このような経験と覚悟を積み重ねなければならぬと思うので、
 死者を何万人も出したこの悲しい出来事は私たちにメッセージを残し、
 自分が行かないと、おバこで自分自身を救うと信じている気がしました。
 これからも8/6、午前8時15分を始点とするこの出来事を覚えて生きていこうと
 思っています。そして、このことを次の世代へおバこおバこと伝えていけるように行動して
 いきます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆が広島や長崎に落とされた、という事実を知って
 聞いたものの、今回の講演を聞いて、よりリアルに原爆
 が落とされた当時の出来事を知ることができました。学校の
 授業で聞いたし、私の祖父母から戦争についての話は聞いて
 いましたが、実際に広島などの爆心地に行かれた方のお話を
 聞いたのは初めてで、動画を見てその当時の苦しさや原爆
 の恐ろしさは相当なものだったのだと感じました。私は、爆心地
 の候補に広島・長崎以外の京都や小倉、私たちの住んでいる
 横浜などもあがっていたとは思いませんでした。天候などの色々条件が
 重なり、広島・長崎に原子爆弾が普通に生活していた、何も罪のない人
 たちの命を一瞬で奪ったと思うと、とても残虐だと思いました。使われた
 爆弾が7000℃で太陽よりも高い温度だったと知り、私は何故
 そんな危険なものを落とす必要があったのか、と疑問に思い
 ます。私は今日受講して、戦争というものがこれから本当にあつ
 ていけらばいいと思うと共に、戦争が生まれるものがとこれほど
 恐ろしいものが、改めて感じました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講し、改めて戦争の怖さと、ひど
くと、恐ろしさを痛感しました。また二度とあつはほらたいたい心から強く
思いました。特に、原爆投下を体験したヒロシマでは、今まで見たこと
なかった映像が流し、涙と人々の叫びが吹き飛ばされ、暴風雨、ひどく様子
には衝撃を隠せませんでした。

原爆投下の候補地には、この横浜が入っていたことにも驚きました。
広島、長崎に投下されたこと、また、原子爆弾という絶対に使っては行けない
兵器を用いたことは人間がどこからか背おつていく大きな大きな負の遺
産に付いていると思います。たまたま、私は今、現在も核を保有している国が
あることに思いを覚えました。核を使用しないの事については絶対に付いて今の私ははっきり
と言いたいと思います。それは今日特別授業を学んだからです。

私たちは戦争を体験していません。また、今生きている多くの人が同じ
だと思っています。でも、たまたまを昔何かあったのか、どうして戦争が起つた
のか、核を使用する恐れについて深く考え知ることが大切ではないと思います。

私たちが付いていくには、戦争を体験者の本声へと近づいていきたいと思います。
また、今後、この原爆ドームはどのような様子を私たちが負の遺産と共に、歴史や
事実を後世に伝える必要があると思います。

今後、戦争が二度とないよう、歴史をより深く知ることが、私たちができる身近な
ことから始め、学んでいきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/11

今日は、貴重なお話しをきかせていただきありがとうございます。
戦争というものを体験したことがない私たちにとっては、衝撃的
な話ばかりでした。例えば、原爆を落とす候補の1つ
に横浜が入っていたことや、原爆は7000°の熱さをも
っていたことなど。正直横浜たときいたとき、私たちの住んでいる
所に落とされなくてよかったと思っていました。しかし、最後にみた
義三さんのビデオで、その考えは改めなければならぬと分かり
ました。今の私は戦争というものの怖さを被爆された方
に比べると、全然ありません。しかし、涙ながら当時の貴重な
体験をお話しする義三さんを見て、私は後世の人たちに伝
えていかなければならぬということを改めて学びました。
今の私たちの代で、被爆された方の生のお話をきける
のは最後です。なので、私たちが大人になったとき、どのように
伝えるかが大きなポイントとなると思います。今回の公演のように、
ビデオであっても、実体験者の声をきかせること、自分の考えを
述べて伝えることが大切だと考えさせられました。そのためには、今回を
きっかけとし、多くのことを学びなければならぬと分かりました。
私の戦争についての勉強の大きな1つとなりました。
本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日話を聞いて驚いたのは、太陽と同じ温度、おしとんぼ上
回すモノが落ちてきた、ということでした。今まで太陽が落ちてき
たらとわかったことがありませんでしたが、広島の人達は何の
予告もなく、焼死してしまったり火傷に苦しんだと思うと怖いか
やらない気持ちになりました。そして、まさに現場へ向い深
山の苦しみとをみて、しかも自分に即けて、と言われたら胸が
張りこむような気持ちになると思いました。それを体験した義三は
は本当にすごいなと思いました。思い出したくなるような記憶を
ついで、後世に伝えるために思い起こせるのはすごい偉業
だ”と思いました。

広島市の5人に2人が亡くなっていきと聞いて、いつもと何かに
お人か急にいなくなることをあきらめた”と思いました。

そして、義三さんが首負、たせ性が無罪に生まれて本当に良
かったと思いました。義三さんの「ほやこしいものではない」とい
うのを聞いて本当に胸が熱くなりました。今回のお話を胸
に5月の修学旅行に行きたい”と思います。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆のお話しを聞いてとても興奮的でした。

そしてとてもショックでした。なにしろ、千バット大佐の母の名が「ばくたん」に使われていたこともそうであり、原爆目標都市に横浜が入っていてビックリしました。

これから先、8月6日、9日が「たびに」先生のお話しを思い出し心に止め生活していきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、小学生の頃、はだしのゲンというマンガをよく読んでいて原爆が落とされた悲惨さは、知っているつもりでしたが、今日、原爆先生の話を聞いて、本当に、胸が痛みました。約74年前に、日本でこのような事が起きていて、おどろきました。広島と長崎に原爆が落とされたのは、不思議に思っていたのですが、今日、原爆先生の話を聞いて、原爆の破壊力が良いなど、条件に合ったからと知ることができました。原爆が落とされる時、約600mの頭上に太陽よりも熱い7000°という温度があったと考えたら、本当に残こくです。広島市の人口は35万人いて被爆者24万人、死者数14万人、死亡率40%ということを知って原爆がどれほど悲惨かが分かりました。池田義三さんが語っていたことは、とても胸にしみこみました。原爆の資料館にあるのよりも、もっとさんくで、あると語っていて印象に残りました。世界には、まだ核があります。このような悲惨さを繰り返してはならないと心から思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆が落とされた場所はもちろん知っていたのですが、候補になっていた場所が
6ヶ所もあったなんて知りませんでした。
しかも、天候によって落とす川原番が決められていたとはとてもびっくりしました。
タイトルになっていた「7000℃の少年」の意味は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」だったのではないかと思います。
原爆を被害を受けた被爆者の方々は、私たちがなにげなく食べようと思ってお湯をおかしている時のお湯がまちがえて自分の体にかかってしまった時よりもはるかに何十倍もの熱さをいっしょにして体験したのだと思うと大変心苦しく思います。今、こうして私たちが楽しく毎日の生活ができているのは、被爆された方々がいらしたからこそであり、自分たち現代人は二度とこのようなことをくりかえさないように、日々の生活の一つ一つを大切に生活していきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

最近友達が亡くなったので、命や死についてよく考えるようになりました。人が死ぬということは何となく私にはよく分かりません。しかし、たくさんの方が死んでいく光景を想像していると、今の死んでいった人達は誰かの大切な人だったのかと、思い胸が痛みました。人月日は時間が経てば忘れられる生き物です。情報や出来事は時代と共に腐っていきます。しかし、決して原子爆弾投下の悲劇を忘れることはしません。私たちの世代が今の時代に嘘偽りのない事実を伝えていきます。この世界から戦争がなくなることを信じています。長く生きれば、生きている命もいつか戦争が起きている時を共有します。しかし、今の世の中がどうなるかを考え、少くも死んでいく人々を減らして、未来ある命が十分に生き残り消えぬよう行動できるのが役目だと思います。今日は貴重なお話をしてくださりありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、何度もお話しを聞く機会がありました。今回の特別授業を受講して、初めて知った衝撃的だったばかりでした。一番驚いたのは自分の頭の皮に3000度、さらに上には太陽よりも熱く7000度のものか、あたいらで太陽が6000度ある、いかにしても簡単に想像することはできないのに、それをけるか上回った熱をもつものか自分の頭上に落ちてくる、というのは本当に恐ろしく感じました。ビデオを見て、原子爆弾が実際に人や土地にもたらしたことも映像で今回初めて知る事ができました。人や物を飛ばすかどのくらいあったのか、熱線が本当に伝わりました。原子爆弾投下候補地に、横浜、京都が入っていたのは聞いた事がありました。長崎では打ち小倉に落とされる予定であったが、京都は重要な文化財があり、それを守るため落とさないという結論にいたった事を知り、詳しく知る事ができました。ただ、なぜ京都には重要な文化財を守るため、落とさない、という結果になったのか、広島、長崎に落とす事はやめなかったのか、疑問に思いました。日本に原爆が落とされたのは広島長崎の2都市だけだと思っていました。富山をはじめ何十回もの模擬爆発があつたという事を初めて知りました。一番最後のビデオを見て、義三さんが言葉をつまらせ、涙を流してあの話し方様子から70年以上かかっているのにも関わらず、平和な時代に生まれた私達が想像もできないことを経験した義三さんのお話し表情を見て、どれほど辛いものであったのか、今までで一番



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は大変貴重なお話をありがとうございました。

5月に広島に行くということで、授業内で話を聞く事があり前より知識などはあるかと思っておりましたが、話を聞く中で自分の考えはあまかったということに気がきました。

今日聞いた話は今まで聞いてきた話の中のどれよりもリアルで胸に刺さるものがありました。何よりも被害の大きさに驚きました。川辺の状況や田舎の状況、人々の状況など正直、とても怖かったです。話を聞いただけの自分がこんなにも怖いと思つたので、実際その場にいた人の苦しみは到底理解出来るものではないと思いました。

あまり想像がつかず原爆の状況をビデオで見た時破壊力の大きさに言葉が出ない位でした。あんな状況が何十年前とは言え自分が生きている日本で起こるのだと考えると、本当にこの地球はあつたのか？ まじや日本だと、とても信じられませんでした。

爆風やその他が全て人間によって作られたということが本当に信じられません。一気に人を死に連れていくということ、残された人々は大きな悲しみを抱くということ、何十年経っても辛い思いをしている人がいるということ、これら全ては今後絶対にあつてはいけないと思います。そのためにも今回話を聞いた側として何か出来る事があれば、小さいことからでも始めたいと思います。

来年の修学旅行に生かしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日、お話を聞かされた原爆のことについて私は何も知らないのだと感じました。

8月6日、9日に広島、長崎に落とれたことと私は、忘れなければいいと、思っ
ていたものの、私たちが失った、忘れなければいけないのはその背景があって、いかに
物事を上辺にだけ促すということが考えられました。例に挙げると、何故
4.6原子爆弾が積み込まれたフットマンよりも4.7積み込まれた投下され
た広島の被害がより大きく現代ではニュースなどのメディアで取り上げ
られようかというところ。つまり私は「長崎の方が人が少なかった」
からというように「それだけ」が「理由」と思っていました。それがいわゆる
「上辺にだけ促す」という物事。本来は小倉が「第二候補」があり、そして
目標を正確にするのに三度も失敗して、目標として長崎でも投下されたのは
常盤橋からそれほど遠い地に落とされたというのが驚きでした。それと同時に
本質を全く知らずに自分だけが「浅はか」であったかを痛感させられま
した。そして今、原爆を落とすアメリカが悪い、と一言で切り捨てることは
出来ないかと考えました。なぜなら戦争そのものに背景があって、マレー半島や
真珠湾に攻撃をして日本もいるからです。だからこそ、物事を多
方面から、客観的に促す必要があると私は思います。事故の背景を
含めて考え、悪いとすぐには決めつけず、全体を見えて促すような
人になりたいです。今日は貴重なお話ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、今回の授業が具体的に知れて、とても良かったです。普段の日常では、原爆に触れることがなく、日本史の授業でも、8/6 広島で原爆が落とされた、という事実しか知りませんでした。しかし、今回の授業を受けて、原爆が「どんなものなのか、広島がどんな状況に陥ったのか」、明確に、わかることができました。原爆が「太陽と同程度、それ以上の熱を持っていること、人口の約70%が被爆、そして約40%の人口が死亡、死亡した14万人のうち2万人に、一瞬のうちには消え去ってしまったこと、肌が焼けただれ、人の姿を失った人口に、何をできること、広島で起こったことのワークに、恐怖や、哀、悔いが伝わってきました。そして、それと同時に、助けることのできた喜びも伝わってきました。私も驚いたのが、横浜も原爆を落とす候補に上がっていたことです。私は、これまでどなたか原爆の話聞いても、どこか他人事のような気持ちがありました。しかし、自分の時に原爆が落とされたと思えば、そのような気持ちにはなれませんでした。広島で起こったことが、広島の人達だけでなく、自分にも共有されたような感覚に、今回受講して感じました。今回、貴重な原爆を教えた頂き、有り難う御座いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

驚くこと、恐怖は出来事でした。おびえが衝撃でした。原爆投下があった都市
広島と長崎の出来事は知っていましたが、アメリカがどのような目的で、どの
ような方法で投下したのかはあまり分かりませんでした。なので今日
聞くことができたので忘れたいようにしようと思いました。

池田さんは私とあまり変わらない年頃に軍に行かされ、そこで私が
想造する以上に、悲惨な体験をされて、本当に辛かったです。と思います。

9日間も死体を集めたり、焼いたりたくさんのお場で辛かったです。
と思います。私たちは今ある世界しか見ることができません。

ですが、池田さんのように被爆者の方々が私たちに悲惨すぎる
出来事を思い出すのも辛いと思われそうですが、貴重な話を聞けるた

けでも学ぶことができました。以前の私よりも今の私の方が戦争

原爆投下のことについての思いがあると思います。おびえが衝撃な話

を聞くだけにお知らせだけで心にためて忘れたいようにしよう
と思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆先生の特別授業を受講して、悲しさ
と恐るけで心がいっぱいになりました。受講した後、体のふる
えがとまりませんでした。私にとって今回の特別授業は
印象に残るものばかりでした。

単に争や原爆については、ニュースや新聞、教科書
で知る事ができませんでした。池田先生の話を聞いて
も、と原爆について考えてみようと思えるきっかけになりました。
原爆の大きさ、被爆者の数など、どれも耳を疑うもの
ばかりでした。それに石田先生のお父様の話を聞いて
原爆の恐ろしさをおぼえました。原爆投下直後、白い光に
よって一瞬に人が見える戸所が印象に残りました。
私の友人が原爆投下直後白い光できえてしまうと考えるときも恐
く感じてしまいました。

今回の授業で原爆について知る事ができました。
来年の学年にも、原爆先生の話を聞いてほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆の話聞いて、授業ではもちろんテレビでも原爆が広島と長崎に落とされたということしか知らず、落札の、落札とき、落札人、落した瞬間、落した後の人々、全てのものが初めて聞くものはかりだった。

授業やテレビは、たいていのことしかおしえてくれない”でもいつも同じおな事はかりだったから自分は知っている方だ”と思った。でも今日先生の話を聞き、あまりに私が無知だったということに気づかされた。太陽より暑いものとはどんな物なのだろう。人が一瞬で消えてしまうほどの威力のものなせ、人はつくってしまったのだろう。14万人もの人々の命をうばい今も尚く苦しんでいる人がいる。そんな事をしてきた勝利は本当にうれしいものなのか。いろいろお事を考えた。もしかしたらこの私が住んでいる横浜が落とされたかもしれない事実に正直、人事では終われないな”と思った。たぶんこの話を聞く機会が私にはなかったら、未だに人事と考へ毎日過ごしていたのだろう”と思った。

だから、本当にこんな話を聞いて本当に良かった”と思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生の話を聞いて原爆に対する気持ちが変わりました。

今まで知らないことを学びたい、その土壌にいた池田さんのお話でも最後に聞いて良かった。

実際に体験している方の話を聞くのは今日初めてでした。途中途中で涙が見え、

本当に良かったのだと、改めて実感したと同時に、自分は今まで被爆者にあつた人、ままだを何も

わかっていなかったと思うと、少し申し訳ない気持ちになります。

原爆を受けた方、見た方はなるべく他人に話したくない。という人が多かったと思います。

でも、池田さんは、私たちのためにお話をして下さいました。私たちが今日感じたこと、

知ったことは、今後私たちに子供がなつたり孫がなつた時にちゃんと話して、

もう二度とこのようなことが起きないようにするためにも、きちんと次の世代に

伝えていけたらいいな。と思います。

私一人が言っても、何も変わらないかもしれないし、直接被爆者の方から聞いたわけでも

無いのであまり聞いてもらえなかつたり、心に響かなくなつたりするかもしれないけど、

もし誰か一人にでもその声が届いたら嬉しいと思う。

今日は池田先生と池田さんのお話、原爆の自体が知れて本当に良かったと思う。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、お越し下さりありがとうございました。私は今まで、広島や長崎の原爆についてテレビや教科書、授業でお話しを聞く事は何度もありましたが、今日ほど衝撃を受けたことはありませんでした。先生のお話しを聞いていると、その時の情景や状況が頭の中で再生されて、まるで自分自身もその場にいるような緊張感や恐怖感を感じました。しかし、実際にその日に広島や長崎にいらした方々は、私に今日感じたものなど比にならない程の恐怖を味わったのだと思うと、心が苦くなり、また、体験したことのない者には、感じることもできないものであろうなと思いました。

日本人にとって、原爆は、何の罪もない人々の命や平和で豊かな生活を、一瞬にして奪い取った、恐ろしく、無惨な戦争の象徴でありますが、外国人、特にアフリカ人の多くは、原爆投下について肯定的で、原爆が投下されたから戦争は終わったのだと言う人までいます。私はこの事を知った時、怒りさえおぼえました。しかし今日のお話しを聞き、原爆投下が正しかったと思うことはありませんでしたが、敵国にも様々な背景があって、このような無慈悲なことが起こる。それが戦争というものなんだなと強く思いました。講演の最後の動画で、先生のお父様が、涙ながらに語られているのを見て、それだけ悲しい過去なんだなと思いました。これから修学旅行で広島に行った時は、今日の講演で感じたものを忘れずに、様々な事をしっかりと受け取ってほしいなと思いました。

本日は、貴重なお話、本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで聞いた原爆の話(テレビ)などで

一番細かく説明して下さる方が聞きわがったです。

被爆者の様子などを聞いていただけで、

具体的に何説明が想像してはわかつたり、耳を

ふさぎたかつたりしていました。ですが、池田義三

さんは、まさしく私の想像以上の景色を見たの

だろうと思うと、何も知りなかったことを申し訳ない

思います。

原子爆弾の仕組みは私が思っていたより

かつたり大ききサイズで、また太陽より熱がた

まうことにとておどろきました。

写真の横井久佐も、スウーと機を

笑っていて、どんな気持ちだったのが不思議に

思います。

資料館の人形が映った時、私は机をおどろ

ましたか、義三さんが「こんな生やましいものではない

とおっしゃった時、またにおどろきました。

お話を聞いて、この紙を書きながら疑問に思うことが

でてきたので、調べてみたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いていて、話しの中の少しためてから話したり、効果音みたいなものを聞いて、難しい話だけのこと、少し想像しやすかった話を聞いているだけでもおどろく、悲しいのに、実際に現場で見た池田義三さんは最後のセテオなどで言っていたり、「きついな」と言っていて、あたり前だが、私たちに想像が出来ない位の悲しくつらい思いをしたんだなと思った。池田さんが生まれたのはドラム缶があって、トラックが遅れたからだと聞いて、もしドラム缶がなかったらやトラックが遅れずに来たらと思ったり聞いていておどろくとした。最後の電話の地下のトイレから出て来たから生き残った人の話なども聞いて、その当時ではどの場所にもいたかなども生死にかかると思うので五人中二人が亡くなった中生き残るのはすごいと思った。また、原爆の温度が太陽の表面温度より1000℃も高いというところにおこったアメリカなどが原爆をどこに落とした良いか、京都に落とせば結果が1番良かったけれど、アメリカが日本を支配する時の事まで考えれば京都はダメだという話をきいて、同じ人間なのに、戦争は本当に人を殺して

しやうのかと 特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
田. ち. 一. から先、戦争があった時の事を知っている人はほとんど減っていきと



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

想像以上の現実だと分かる。2つとも、絶対に私には呼べない部分がある。

毎回「原爆」について話を伺う度に、感じる感情は違いました。

今回特に心に残り、1事はもちろん涙もありました。「人が光線により消えていく」事、

原爆と落とす場所とちゃんと「計算して」事、原爆の現実と原爆ドームの

温度差がすごくなり、原爆ドームの語、2つ1事が「きれいすぎる」事。

今回伺った話は、普段は聞かなくてはいけない物語だと思うし、原爆先生が語る事に

より深い意味のある事だ、と改めて感じられました。

知識的に驚いたのは、「エラ・ゲイ」の名前の由来です。機長于バット大佐の

お母さんの名前だと聞いて、言葉に現れたのを不思議に驚きました。そして、京都も

原爆投下地に推測されたのは意外でした。原爆は1945年8月6日に落とされるという

間違った内容があると同じく、私はその事を知らなかった、勉強になりました。

日本人として知らなかった事が被爆者やその関係者に申し訳無い気持ちになりました。

また、この話を機に、機長の名前や爆弾名も知ることが前向きな気持ちになりました。

私は小学生の頃に原爆ドームを訪れた事が一度あります。その頃は「戦争」という単語、

そして「涙の雨が降る」という事しか知らなかった、今、やと訪れた事に意味が

あるのだと感じました。原爆ドームが語る「きれいすぎる」本当の真相を

少しも伺う事ができ良かった事です。「戦争」という物語について、絶対に忘れたい

思い出と強く感じました。

ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

衝撃に思う事がたくさんあります。最後の紀田さんの動画を見て、そして私たちが今日お話を聞いた中で感じた恐怖と不安よりもっと想像を絶するものがあの広島島を取り巻いていたのだと思います。全然知りませんでした。学校の授業等が教わってはいたけれど、7000℃という温度の恐怖が身に染み込んでいます。知っていました。私には知っているつもりでいたけれど、それがたくさんあると思います。このことについて、今を、未来を生きていく私方には知る義務があると思います。もっと勉強して、このことを胸に刻み二度と繰り返さないように努力します。と同時に未来の話もあること。だから私たちが私たちがどうすれば良い釋を作ることができるのか。このことを今後自分に問いかけていきます。学校に行くのが何となく嫌だとか、母に口うるさく色んなことを言われるのが面倒臭いと言っている自分とは別れを告げたいといいたいと強く感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

父・義三さんの話を息子として、受け継ぎ、皆に伝えて
いる原爆先生はすごいと思った。ビデオの中で原爆
が落ちた時、道はたに座っていた人が一瞬で消
えたのが信じられなかった。キノコ雲の正体が、原
爆の衝撃で砕けた破片などが上に上がった
ものだということに、一番驚いた。どんなに原爆
の悲惨な写真や映像があっても、実際に体験
した人達にとってはそんなにやさしいものでは
ないし、文章にしたり話をしたりしようとしても、う
まく表すことが出来ないという義三さんの言葉
が、何よりも心に残った。原爆先生の話を聞いて、
原爆や戦争などの話は、他人事としてでは
なく、もし自分達だったらと考えながら聞くこと
が大切なんだと思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

学校の授業が広島・長崎についてよく聴いていました。

でも、授業が聴いたり、自身で調べたりする内容と日々違う。

そんな時やテレビのものでもありませんでした。

原爆資料館で池田義三さんが女性被爆者の模型を見た時に言われた一言が

酷く胸が締め付けられました。

原爆先生が話している時、私自身もその現場にいるような感覚でした。

非難や怒りばかりの奥底から湧き出ている哀しみ、胸を締め付けるような

感情が一杯になりました。

その歴史は決して忘れたくないけれど、どうしてと現れを思っていました。

本当に貴重な時間、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

100分間のお話ありがとうございました。
最初は正直100分と聞いて、長いなあと思った
のですがあまりにつらいお話すぎてあつという間
でした。原爆のことは学校のテストの問題で目付けとか
出てたからそこそこわかっていましたか、あんなに詳しい
お話を聞く機会がなかったのでも聞けてよかったです。
お父様のほろしいお話だけでなく“原子爆弾”という
仕組みから知りることができまし、落ち下など、「こう言
うことだったんだ」とよく理解することができました。
エロ・ガイというチベットのお母さんの名前が使われて
いたことに対して、今現在、エロ・ガイさんが生きてい
るような気持ちだったのを少し考えさせられました。
最後のビデオのお父様は本当に苦しそうで私達も
とても悲しい気持ちになりました。戦争は町を壊すだけ
ではなく人間そのものを生き残った人の心までも痛めつけ
る本当に悲惨な事だと改めて理解することができました。
でもその悲惨さを伝える人が居なくなるとはまた同じような事が
繰り返されるので、やはり池田先生のような方が私達へ、私達が
後世へと伝えるべきはいけな...と思いました。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/11

原爆先生のお話を聞いて、私はとてもおどろきました。
 原爆が投下されて爆風が^{とても強い}のは知っていましたが、
 まさに7000°Cだと思ってもいませんでした。太陽よりも
 強いと知り、恐怖でした。原爆のおどろしさを知り、これは本当に
 日本で起ったのかなど疑ってしまいました。
 そして、私が住んでいる横浜も原爆投下の候補地だ
 というのを初めて知りました。助けたいのにも助けられない...
 お話で聞いて小さな子ども困っている人がいたら助けてあげよう
 と思いました。よく電車の中などで、お年寄りの方が乗っていると声をかけられ
 かけぬいたり悩んでしまいますが、今は平和だけれど、これから戦争が起
 起るかも知れないとニュースで見たことがありました。なので、今のうちから
 人に優しく、助けてあげていこう。
 色々勉強に励んでいます。修学旅行の前にお話を聞いて
 助けてあげよう。
 貴重な時間をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、原爆について知りたかったことが
たくさんあり、とても勉強になりました。池田さんがおっしゃる通り、
行くのが怖かったけど、17歳で4年早くこの話を聞いて、当時の
戦争がどれほどひどいかわかりました。

特に、当時の原子爆弾の投下候補に横浜や京都も入って
いたことを知り、とても驚きました。もし横浜におちて
いたら、現在横浜はもうありません。とても怖く考えさせられ
ました。

また、当時のエピソードを聞き、池田さんがおっしゃる通り、経験と
して聞かせるのもわかりました。トラックの荷台の話は、痛々しい話で
たくさんあり、想像しただけでも涙が止まりません。足元がとろける話も
痛々しい中、泣かずに話を聞いて、とても強くなったと思います。
原子爆弾は、怖くても、話を聞いて、怖くないことを知ることが
できました。また、池田さんがおっしゃる通り、当時の物をぜひ見たいので、
ぜひお話しください。言葉だけでなく、写真なども話して、本当に
勉強になります。修学旅行で原爆ドームに行くのは、始めてのこと
なので、今回の授業で、学んだことを思い出しながら見学したいです。
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾について、少しは知っていたけれど、詳しいところまでは知らなかったのでもう少し知ることができて勉強になりました。若い頃から兵隊になり、そこで経験したことはとても恐ろしかったことであつたことがわかりました。実際に見たものと、原爆資料館にあるもので差がえんなにあるものなのかと思いました。道にもいたくさんの死体や、やけどでこげてしまった人々、肌がけがれている人々がいたら、とても怖く、地獄のような世界にいると思うだろうし、一生忘れられないものになってしまうと思います。原爆がなぜ、広島と長崎に落とされたのかも始めて知りました。多くの被害を受けられるようにと、よく考えて落としたんだなと思いました。目標地点から外れていても、とても大きな被害であつたので、もし目標地点に落ちていたらどうなつていたのかなと思いました。また、爆弾の温度がとんでもないくらい高いことも知りました。太陽の温度と比べてもすごい温度なんだなと思いました。今の平和な日本では想像できないような出来事が過去に起きていたんだなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の事は、知っていましたが、詳しく知らなかったもので、お話を聞いて良かったです。原爆は、想像していたものより、もっと恐ろしく怖いものだ”と改めて思いました。

原爆先生の父が、実際その場にいたお話を聞きながら想像すると、胸が痛くなり、もし私だったら、その現実を受け止められるかも分からないです。

強い光を浴びると、けつりと共に消えるように、いなくなくなるのを見ることが出来なかつたなど。

私たちが理解できないものではないか”とも思いますが、今後このような事が、世界で起らないことを願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

教科書や授業では命がらぬ、直接命がはいて知れな

かたに命を知らせてあげたい。

自分の想像していても、つらくて、あつちの目を塞ぎたい。

程のことか、日本で起こる、という自分の無知さを知らず、今日

お話を聞く機会がある、と、思っている。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆を落とした時に、大地も天候も
 落ちてきた時にアメリカ側が「場所を失敗している」と
 いうことを知っていた。ところが「良い事だ」と思っていた。
 日本が「不変だ」という事を知り、アメリカの戦略は
 この事件について深く知っていた。それは「中絶して」次は
 「アメリカは日本に原爆を落とさなかった」と
 原因について深く調べている。そして思っていた。
 本当は初めは聴いているのが「つらい」らしい自分の想像では
 分かるが「どうして」とは「語り話して」その歴史は
 本当は「誰かの」ストーリーかとも思っていた。
 けれど「ストーリー」は「誰かの」心にとめて考えて
 いた。最後に私も広島に行くのが「わいど」
 車で行く時を知ったが、自分は「この」悲しい
 体験をして「いい」理解出来た。かゝる
 事柄について、家族の方には「どう思っているだろうか」
 本当は私が「行って」の「だろうか」と考えている。
 最後は「手紙」を「読んで」くれた。その人の「つら
 い」ことを「わかった」と思っている。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島や長崎にどういふ経緯で、原子爆弾が落とされたか、なんとなくテレビで見たり話を聞いたりに知っていたけれど、原爆を落とされた後の様子はあまり聞いた事がありませんでした。私が特に印象に残っているのは、やけどを負った人が手を前に出して、うろろうとしている。手を引、張ろうとしたら、皮膚がはがれおちるという事です。原子爆弾が落とされて、熱いというのとは、どこかで聞いた事があったけれど、そのまじほってしまうとは、知らず、とてもおどろきました。広島が何もなくなってしまうから、どうやって復興したのか、戦後死体の山を誰が片付けたのか、とても気になりました。もし、日本がポツダム宣言をもっと早く受け入れていたら、このような悲劇は、おきいなかた。とも思いますが、でも人間がおかしてしまったものは、過去にかえり変える、という事は、全絶に不可能です。だからこそ、これから、どうするの。また、戦争の時代を経験されている方がもう20年後、30年後には、いなくなってしまうかもしれません。だからこそ、今私達が私を聞き、それを若い人にどんどん伝えていかねばならないのだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

3/11

お父さんのビデオにびっくりしました。あんなあんな動画を
 見たことがなかったの、途中で泣いてしまったり、感情
 的になっていす所がとて驚いたし、もっとこういう動画を
 授業とかで使えばいいのになと思いました。教科
 書とか読んで、資料とかはありますけど、少し機
 械的だから、他人事の域を出ないと思います。今日
 読んでいらした本とか、もっと活用出来れば
 いいのになと思いました。もっと多くの人に今回み
 たような特別授業を受講させた話を知りたいと
 痛そうとか暑そうとかそれ以外の考えを持つ人が
 少くともは増えるんじゃないかと思いました。で
 も自分たちに何が出来るのか、何をすればいいのか
 は分かりませんでした。/今までのどの講演を聞いても
 考える頭はあるけど考える力とか何が正しいのか
 分からないですし、大人たちが教えてくれればいい
 のにと思いました。実際の映像がなければ想像し
 ないかもしれないけど私は小説とか読むとか嫌
 だし、たまたま大人の人にへうへう話されても大したことを思
 わないので、やっぱり人として最低に見られてもおかしくな



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は前にも牧師の先生からの特別授業で「平和とま」というテーマの話を聞いた事があり、その中で原爆についての話題が出て、相対橋に米兵をしばりつけてその横にバットをおいて、その米兵は無残にも最後片足しか残っていた、というエピソードを聞き前まで「原爆が落とされた瞬間の映像が七秒間だけ見られる」という事を知り、驚いたと共にこの原爆が想像を絶する程には悲愴すぎるものだ、のだと思う。それに加え、今回の原爆先生の特別授業を受講し、原子爆弾の威力や、落とされる場所をどう決めたかなど、裏側も知ったので完全に理解する事は不可能だと思いますが、前にも理解を深める事ができ、と思います。太陽の温度よりも高い大きなものが落ちてきて、一瞬で命を奪ってしまうという事は想像し難いですが、先生が見せて下さったビデオを見て、少し分かる気がしますが、きっともっとひどいものなのだ、のだと思う。

義三さんの最後のVTRを見て、それは瞬間がやっかいな事、わかれば、いよいよ、いよいよ、